

独立行政法人国立病院機構
相模原病院
相模原病院臨床研究センター

研 究 業 績 集
令和4年度

免疫異常（リウマチ・アレルギー）高度専門医療施設
独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター

令和4年度研究業績集刊行にあたって

国立病院機構 相模原病院 病院長 安達 献

(1) 研究センター人事について

昨年課題に挙げた欠員部長2枠の公募を実施し10月1日付けで福富友馬先生が臨床研究推進部長に、松井利浩先生がリウマチ性疾患研究部長に昇任され体制が整いつつある。

(2) NHO 臨床研究組織の見直しについて

令和3年4月のNHO病院長会議において基準が明確化されている。臨床研究センターの上限は10病院、臨床研究活動実績評価において臨床研究センターは2000点が必達条件とされた。2000点を超えていれば降格することはないが、3年連続で2000点未達の場合には次期の見直しをまたずに降格する場合があると規定されている。令和3年度実績と令和4年度実績を踏まえて臨床研究組織の見直しが行われ、令和5年11月に決定通知の発出予定となっている。当院の実績は令和3年度9位、2321.3点（著書発表数148本、国際学会発表数30件）で、令和4年度は論文著書発表数140本、国際学会発表数51件と令和3年度と同等の点数がつくと期待しているが、令和2年度は8位、1941.1点（論文著書発表数154本、国際学会発表数62件）だったこと、平成30年は11位（1890.82点）だったこと、全国受託研究請求額が令和4年度は17位と令和3年度11位から順位を下げていることから予断は許さない状況ではある。働き方改革の実施が目前に迫る中で、2000点以上を安定的に確保するためには診療部の臨床研究回帰を含め方策が必要である。

(3) アレルギー専門医制度について

海老澤先生（さくら32号第1号）や粒来先生（さくら32号第4号）が述べられているように、日本専門医機構は内科を基盤学会とし小児科や耳鼻咽喉科等の学会が基盤学会になるのは認めないとするスタンスを崩していない。患者さんは科別のアレルギー専門医ではなく総合的なアレルギー診療能力のある『トータルアラジスト』を求めているのであり、今後のアレルギー領域の発展に影響する大きな問題であると認識している。

最後に国立病院機構が「変革期」と位置付けた第4期中期計画期間（令和元年度から令和5年度）は最終年度となったが、ウィズコロナの状況下で新規入院患者数が伸び悩んだためにNHO全体で令和4年度338億円の赤字見通しである。また防衛力整備のための財源確保の一環としてNHOの令和3年度末積立金819億円から422億円を前倒しで返納したために積立金が目減りしたことから、NHO基盤強化推進基金（仮称、1000億円）を発足させて財政基盤の堅陣化を図ろうとしている。そのため医業収支が黒字でない病院は施設の建て替えはもとより、常勤職員の採用を制限し非常勤職員の採用も抑制する旨が通達されている。入院患者の個室対策並びに新規紹介入院患者増に向けての確保対策において引き続きの協力をお願いする。

臨床研究センター長挨拶

臨床研究センター長 海老澤 元宏

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当院ならびに当臨床研究センターの運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび令和4年度の国立病院機構相模原病院および同臨床研究センターの研究業績をお届けさせていただきます。臨床研究センター事務室西里さんを中心にセンター事務室と病院が一体となって集計いたしました。ご高閲いただきご指導ご助言いただければ幸いに存じます。

2020年初頭から世界を混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症は5類相当となり失われた3年間を取り戻すべく徐々に日常が戻ってきてつつありますが、国内/国際学会への参加/発表も今後積極的に進めていきたいと思っております。アレルギー性疾患、リウマチ性疾患も分子標的治療が導入され入院が必要な症例も激減しつつあります。このような疾病構造のめまぐるしい変化の中でも将来を見通して臨床研究活動の方向性を模索していく必要があります。NHO 免疫・アレルギー（リウマチ・成人アレルギー・小児アレルギー）ネットワーク拠点病院としても国のアレルギー診療の中心拠点施設（小児・成人アレルギー）に指定され活動しております。

令和4年4月に安達院長が就任してから臨床研究センター部長職も大幅な欠員状態から4部長体制にして頂きました。更に今後室長をはじめとして臨床研究センターの体制を整えて行く次第です。世界レベルの臨床研究レベルを保ち、国や地域のアレルギー・リウマチ医療に貢献できるよう努力する所存です。

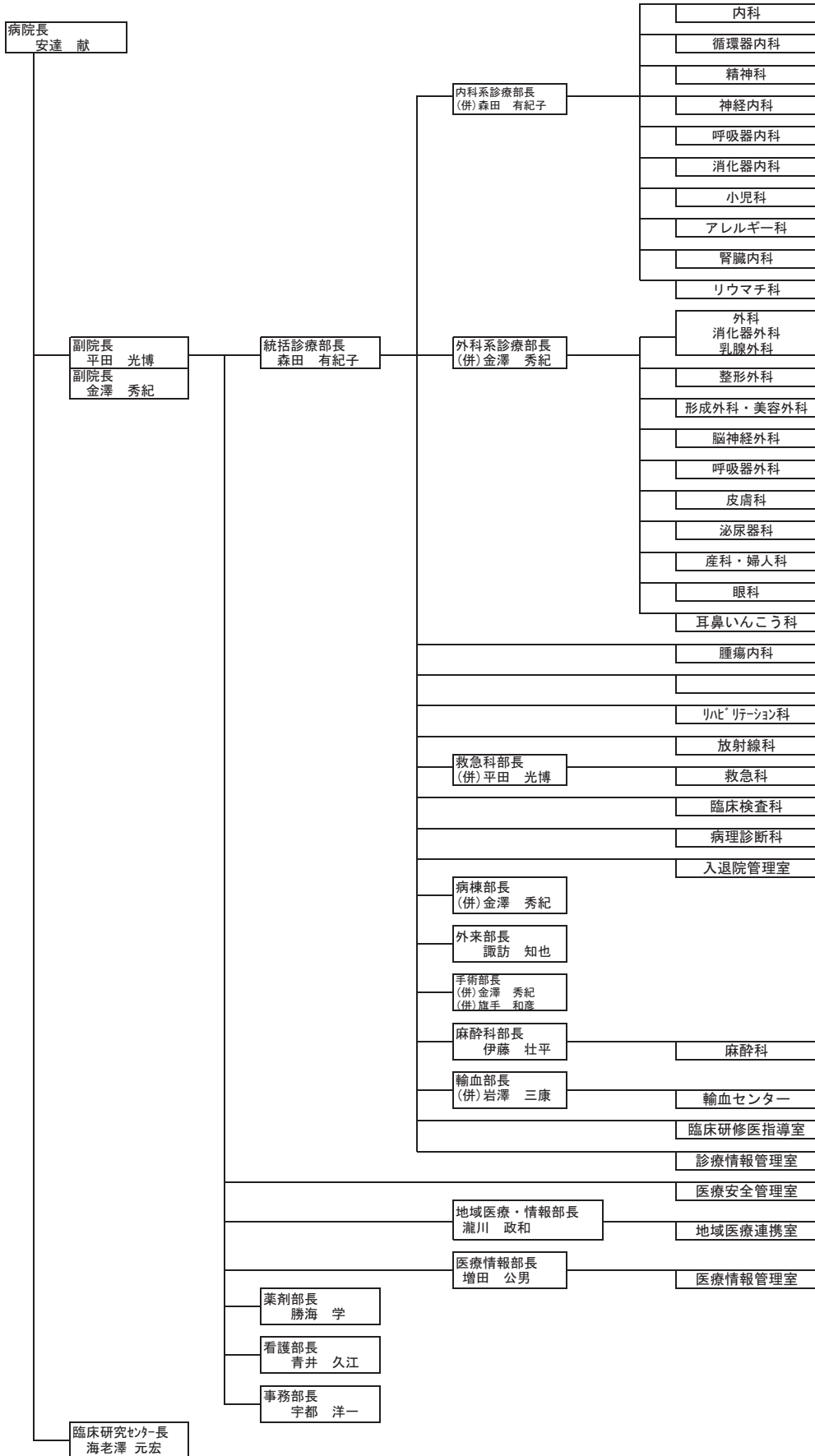
末筆となりましたが、先生方、各施設の方々の益々のご健勝ご発展を祈念しております。

目 次

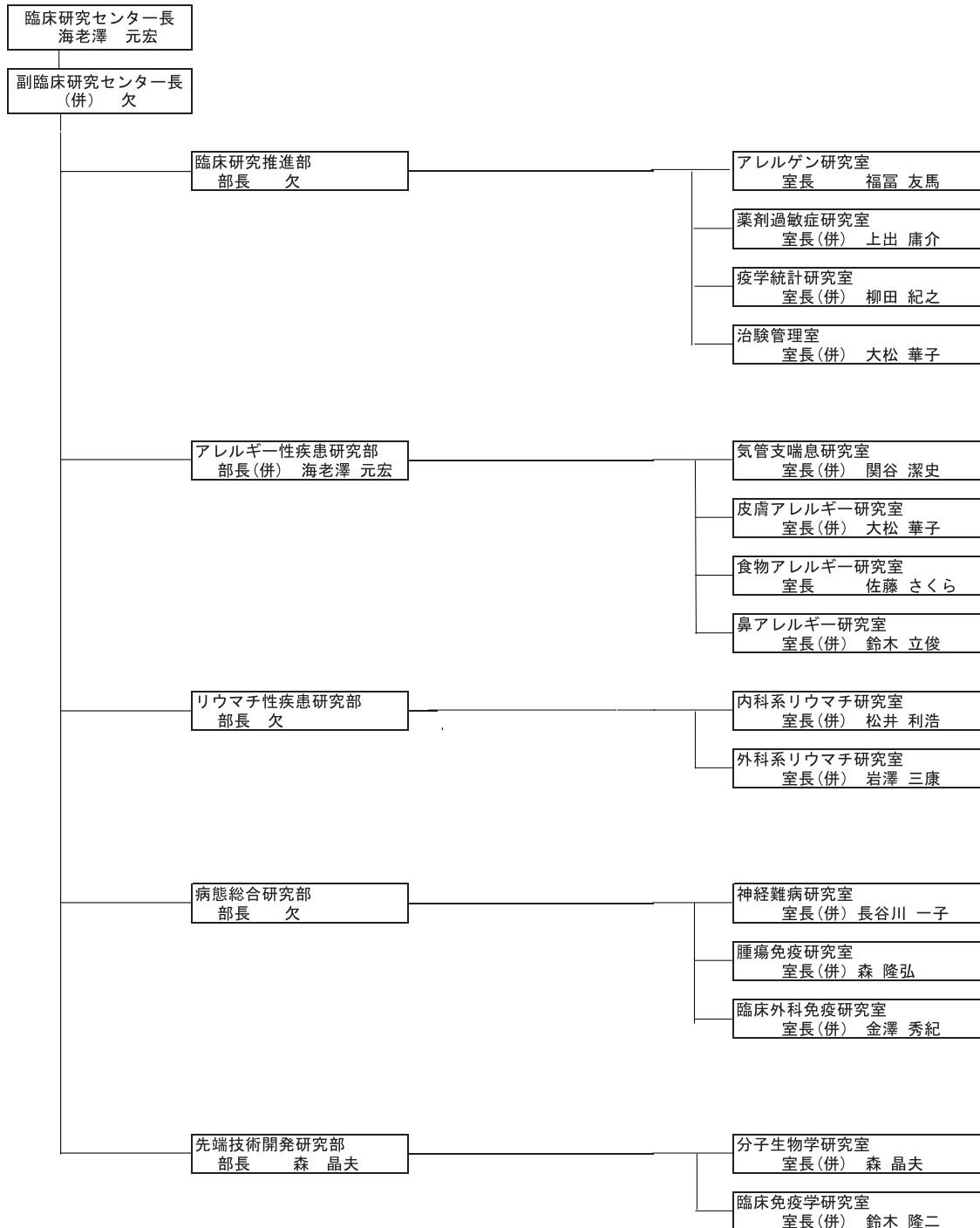
| | |
|----------------------------|----|
| 巻頭言 | 1 |
| 臨床研究センター長挨拶 | 2 |
| I . 【相模原病院組織図】 | 4 |
| 病院診療部組織図 | 5 |
| 臨床研究センター組織図 | 6 |
| II . 【臨床研究センター令和4年度研究業績報告】 | 7 |
| 成人アレルギー分野 | 8 |
| 小児アレルギー分野 | 20 |
| リウマチ分野 | 40 |
| 1) 内科系リウマチ分野 | 40 |
| 2) 外科系リウマチ分野 | 52 |
| 先端技術開発研究分野 | 55 |
| 1) 分子生物学研究分野 | 55 |
| 2) 臨床免疫学研究分野 | 56 |
| その他の臨床研究分野 | 58 |
| 1) 鼻アレルギー研究分野 | 58 |
| 2) 神経難病研究分野 | 58 |
| 3) 皮膚アレルギー研究分野 | 62 |
| III . 【相模原病院診療部令和4年度業績報告】 | 65 |
| 外科・消化器外科・乳腺外科 | 66 |
| 呼吸器外科 | 68 |
| 形成外科 | 69 |
| 消化器内科 | 70 |
| 循環器内科 | 71 |
| 泌尿器科 | 73 |
| 産科・婦人科 | 74 |
| 眼科 | 75 |
| 診療部その他 | 76 |
| リハビリテーション科 | 77 |
| 病理診断科 | 78 |
| 麻酔科 | 79 |
| 放射線科 | 80 |
| 臨床検査部門 | 81 |
| 薬剤部門 | 83 |
| 栄養管理部門 | 84 |
| 看護部門 | 85 |
| 治験部門 | 86 |
| 事務部門 | 87 |
| IV . 【年次報告】 | 88 |
| 研究助成による研究参画 | 89 |
| 令和4年度 NHO ネットワーク共同研究 | 92 |
| 令和4年度 EBM 推進のための大規模臨床研究 | 92 |
| メディア | 93 |
| V . 【研究業績の分類と業績件数表】 | 97 |
| VI . 【主な欧文原著】 | 99 |

I . 【相模原病院 組織図】

病院診療部 組織図 (令和4年4月1日現在)



臨床研究センター組織図 (令和4年4月1日現在)



Ⅱ . 【臨床研究センター令和4年度研究業績報告】

成人アレルギー分野

■英文原著・短報

1. Decreased expression of airway epithelial Axl is associated with eosinophilic inflammation in severe asthma

Itakura K, Fujino N, Kamide Y, Saito I, Yamada M, Okutomo K, Tsukita Y, Saito T, Ichikawa T, Numakura T, Kyogoku Y, Aizawa H, Ono Y, Matsumoto S, Hussell T, Taniguchi M, Ichinose M, Sugiura H

Allergology International. 2022 Jul; 71(3): 383–394

2. Classifications of moderate to severe asthma phenotypes in Japan and analysis of serum biomarkers: A Nationwide Cohort Study in Japan (NHOM Asthma Study)

Suzukawa M, Ohta K, Fukutomi Y, Hashimoto H, Endo T, Abe M, Kamide Y, Yoshida M, Kikuchi Y, Kita T, Chibana K, Tanimoto Y, Hyodo K, Takata S, Inui T, Yasui M, Harada Y, Sato T, Sakakibara Y, Minakata Y, Inoue Y, Tamaki S, Shinohara T, Takami K, Tsubakihara M, Oki M, Wakamatsu K, Horiba M, Ideura G, Hidaka K, Saito A, Kobayashi N, Taniguchi M

Allergology International. 2022 Jul; S1323–8930(22): 00071–5

3. Identification of asthma cases in Japan using health insurance claims data: Positive and negative predictive values of proposed discrimination criteria: A single-center study

Hamada Y, Nakatani E, Nagahama T, Nagai K, Nagayama K, Tomita Y, Sekiya K, Taniguchi M, Fukutomi Y

Allergology International. 2022 Aug; 72(1): 75–81

4. Identification of fungi causing humidifier lung: 2 rare cases and a review of the literature

Ryu K, Fukutomi Y, Sekiya K, Saito A, Hamada Y, Watai K, Kamide Y, Taniguchi M, Araya J, Kuwano K, Kamei K

Asia Pacific Allergy. 2022 Oct; 12(4): e43

5. Frailty and muscle weakness in elderly patients with asthma and their association with cumulative lifetime oral corticosteroid exposure

Ryu K, Fukutomi Y, Nakatani E, Iwata M, Nagayama K, Yano K, Nakamura Y, Hamada Y, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Araya J, Kuwano K, Taniguchi M

Allergology International. 2022 Nov; 72(2): 252–261

6. Longitudinal changes in the prevalence of adult asthma: An epidemiological survey among Japanese salaried employees and their dependents using healthcare insurance claim from 1999 to 2019

Nagayama K, Fukutomi Y, Nakatani E, Hamada Y, Irie M, Azekawa K, Tomita Y, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Nakamura Y, Okada C, Shimoda T, Nagao M, Fujisawa T, Taniguchi M

Allergology International. 2022 Nov; 72(2): 245–251

7. Characterization and cluster analyses of elderly asthma in comparison with non-elderly asthma patients in Japan

Suzukawa M, Ohta K, Hashimoto H, Oyamada Y, Miki M, Ogawara M, Inoue Y, Saito A, Fukutomi Y, Kobayashi N, Taniguchi M; NHOM-Asthma study group
Annals of Allergy, Asthma and Immunology. 2023 Jan; S1081-1206(23): 00005-4

8. Omalizumab ameliorates extra-respiratory symptoms in patients with aspirin-exacerbated respiratory disease

Hayashi H, Fukutomi Y, Mitsui C, Kajiwara K, Watai K, Tomita Y, Kamide Y, Tsuburai T, Sekiya K, Ishii M, Hasegawa Y, Taniguchi M
Journal of Allergy and Clinical Immunology. 2023 Mar; S0091-6749(23): 00366-4

9. Barrier Factors of Adherence to Dupilumab Self-Injection for Severe Allergic Disease: A Non-Interventional Open-Label Study

Hosoya K, Komachi T, Masaki K, Suzuki I, Saeki H, Kanda N, Nozaki M, Kamide Y, Matsuwaki Y, Kobayashi Y, Ogino E, Osada SI, Usukura N, Kurumagawa T, Ninomia J, Asako M, Nakamoto K, Yokoi H, Ohyama M, Tanese K, Kanzaki S, Fukunaga K, Ebisawa M, Okubo K
Patient Preference and Adherence. 2023 Mar; 17: 861-872

10. Computed tomography findings of paranasal sinuses in patients with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: Comparison with other eosinophilic sinus diseases and clinical relevance of their severity

Iwata M, Fukutomi Y, Hamada Y, Nakamura Y, Watai K, Kamide Y, Ishii T, Taniguchi M, Sekiya K
Allergology International. 2023 Mar; S1323-8930(23): 00007-2

■英文総説・著書

1. The Role of Omalizumab in NSAID-Exacerbated Respiratory Disease: A Narrative Review

Taniguchi M, Heffler E, Olze H, White A, Côte-Real J, Olsson P, Lazarewicz S
The Journal of Allergy and Clinical Immunology. In Practice 2022. 10; 10(10): 2570-2578

2. Treatments of refractory eosinophilic lung diseases with biologics

Asano K, Suzuki Y, Tanaka J, Kobayashi K, Kamide Y
Allergology International 2022. 11; 72(1): 31-40

3. Editorial: Pathophysiological and clinical advances in asthmatic inflammation from the nasopharynx to the peripheral airway in the respiratory tract systems

Koga Y, Kamide Y, Hisada T, Ishizuka T
Frontiers in Pharmacology 2023. 1; 14: 1037610

■和文原著

1. BNT162b2mRNA COVID-19 ワクチン接種後の抗体価に関する要因の解析

丸山 浩平, 足立 遼子, 関谷 潔史
日本環境感染学会誌 2022. 11; 37(6): 248-255

■和文総説・著書

1. 吸入性昆虫アレルギー

福富 友馬

臨床免疫・アレルギー科 2022. 4; 77(4): 419-423

2. 成人の食物アレルギー

福富 友馬

臨床栄養 2022. 4; 140(4): 483-485

3. 成人喘息の発症危険因子と予防

福富 友馬

アレルギーの臨床 2022. 4; 42(4): 286-289

4. 喘息患者における新規真菌感作

渡井 健太郎, 関谷 潔史, 福富 友馬, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 林 浩昭,
上出 庸介, 谷口 正実

アレルギーの臨床 2022. 4; 42(4): 290-292

5. 喫煙によるアスピリン喘息発症抑制

林 浩昭, 岩本 圭右, 河崎 裕一郎, 関谷 潔史

アレルギーの臨床 2022. 4; 42(4): 293-295

6. ANCA 関連血管炎-好酸球性多発血管炎性肉芽腫症

関谷 潔史

リウマチ病学テキスト 2022. 5; 第3版: 279-282

7. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA)

関谷 潔史

喘息診療実践ガイドライン 2022 2022. 7; : 55-57

8. NSAIDs 過敏喘息 (N-ERD, 通称: アスピリン喘息)

関谷 潔史

喘息診療実践ガイドライン 2022 2022. 7; : 57-59

9. アレルギー性気管支肺アスペルギルス症/アレルギー性気管支肺真菌症

谷口 正実, 福富 友馬, 関谷 潔史

日本臨牀 2022. 7; 80 巻増刊号 6: 614-622

10. 食物関連抗原による食後の全身性アレルギー

福富 友馬

アレルギーの臨床 2022. 7; 42(8): 587-590

11. アレルギー性疾患診療のポイント 食物アレルギー(成人)

福富 友馬

Medical Practice 2022. 7; 39(8): 1145-1148

12. 実地医家における「喘息診療実践ガイドライン 2021」に基づいた喘息診療
関谷 潔史
内科総合誌 Medical Practice 2022. 8; 39(8): 1126-1133
13. 日本国内のアレルギー疾患の中心拠点病院として、診療・臨床研究・情報発信・教育研修を担う
関谷 潔史
Enario-Breeze navi- 2022. 9; :
14. NSAIDs 過敏症 up to date NSAIDs 過敏喘息(アスピリン喘息)に対する新規治療法の確立とその他の病型について
林 浩昭
臨床免疫・アレルギー科 2022. 9; 78 巻 3 号: 305-313
15. アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き
関谷 潔史
日本アレルギー学会 2022. 9; : (9)(13)(34)
16. 喘息における発症予防と増悪予防
関谷 潔史, 河崎 裕一郎, 遠藤 信幸, 平松 由莉, 小澤 貴裕
呼吸器内科 2022. 9; 42(3): 252-259
17. アスペルギルス抗原 Asp f 1 特異的 IgE 抗体価検査の臨床的意義
福富 友馬
江東微研ジャーナル友 2022. 9; 215: 3-12
18. 成人の小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの予後
濱田 祐斗, 福富 友馬
アレルギーの臨床 2022. 10; 42(11): 829-832
19. 【今知りたい アレルギー疾患と臨床検査】アレルギー疾患の臨床検査 IgE と特異的 IgE (解説)
上出 庸介
Medical Technology 2022. 11; 50(11): 1178-1181
20. 分子標的治療薬の新しい展開 オマリズマブを用いた成人気管支喘息の治療
関谷 潔史, 内田 和紀, 遠藤 信幸, 河崎 裕一郎
Allos Ergon 2022. 12; 2(4): 891-898
21. 気管支拡張薬
関谷 潔史
治療薬ハンドブック Handbook of Clinical Drug 2023 2023. 1; : 472-493
22. 気管支喘息治療薬
関谷 潔史
治療薬ハンドブック Handbook of Clinical Drug 2023 2023. 1; : 494-516

23. 【日常臨床に役立つアレルギー疾患の診断と治療】NSAIDs 過敏喘息（解説）

上出 庸介

月刊レジデント 2023. 1; 16(1): 65-72

■国際発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈SY2-2〉アレルギー免疫療法の実践と今後の展望

関谷 潔史

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会
2022 Nov, 東京・Web 開催

[学会_一般演題]

1. Metagenomic analysis of gut microbiome in multiple chemical sensitivity

Watai K, Sekiya K, Taniguchi M

第 16 回 International Congress of Toxicology (ICTXVI)
2022 Sep, オランダ

2. 〈一般演題 5〉好酸球増多疾患患者における血清中 galectin-10 測定の比較検討

上出 庸介, 河崎 裕一郎, 平松 由莉, 遠藤 信幸, 岩田 真紀, 中村 祐人, 小澤 貴裕,
濱田 祐斗, 森 晶夫, 福富 友馬, 関谷 潔史

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会
2022 Nov, 東京・Web 開催

3. 〈O1-1〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における副鼻腔病変

岩田 真紀, 福富 友馬, 河崎 裕一郎, 平松 由莉, 遠藤 信幸, 中村 祐人, 小澤 貴裕,
濱田 祐斗, 上出 庸介, 森 晶夫, 谷口 正実, 関谷 潔史

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会
2022 Nov, 東京・Web 開催

4. 〈一般演題 3〉レセプトデータから判別される喘息の診断妥当性

濱田 祐斗, 中谷 英仁, 長浜 誉佳, 永井 克彦, 永山 貴紗子, 富田 康裕, 岩田 真紀,
中村 祐人, 劉 楷, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 関谷 潔史, 谷口 正実, 福富 友馬

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会
2022 Nov, 東京・Web 開催

5. 〈O3-2〉日本人成人における喘息有病率の縦断的变化：1999 年から 2019 年までのレセプトを用いた疫学調査

永山 貴紗子, 福富 友馬, 中谷 英仁, 濱田 祐斗, 入江 真理, 畦川 和弘, 上出 庸介,
関谷 潔史, 中村 陽一, 岡田 千春, 下田 照文, 長尾 みづほ, 藤澤 隆夫, 谷口 正実

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会
2022 Nov, 東京・Web 開催

6. 〈O3-3〉喘息と化学物質過敏症の疫学的関連

渡井 健太郎, 谷口 正実

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会
2022 Nov, 東京・Web 開催

7. 〈O3-6〉日本における環境アレルゲン特異的 IgE 抗体陽性率の経年変化：全国大規模データの解析

河崎 裕一郎, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 関谷 潔史, 谷口 正実, 福富 友馬

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会

2022 Nov, 東京・Web 開催

8. 〈O4-6〉高齢者喘息における経口ステロイド累積曝露量とフレイルおよび筋力低下との関連性

劉 楷, 福富 友馬, 中谷 英仁, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 矢野 光一, 中村 祐人,
濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 関谷 潔史, 荒屋 潤, 桑野 和善, 谷口 正実

第 31 回国際喘息学会日本・北アジア部会

2022 Nov, 東京・Web 開催

[学術講演・他]

1. Biomarkers of EGPA and their modification by mepolizumab

上出 庸介

GSK Science Meeting: Eosinophils and IL-5

2023 Jan, ロンドン

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈MS111〉加湿器肺の診断とその原因真菌症の同定に関するフローチャートの提案

劉 楷, 福富 友馬, 関谷 潔史, 齋藤 明美, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 谷口 正実,
桑野 和善, 亀井 克彦

第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催

2. 〈SY18-3〉真菌とアレルゲンコンポーネント

福富 友馬

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, Web 開催

3. 〈MS35-4〉高齢者喘息における経口ステロイド剤 (OCS) 生涯曝露量とフレイルおよび筋力低下との関連性の検討

劉 楷, 福富 友馬, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 岩田 真紀, 永山 貴紗子,
矢野 光一, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 森 晶夫, 桑野 和善,
谷口 正実, 関谷 潔史

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, Web 開催

4. 〈MS36-4〉アニサキスアレルギー患者におけるアナフィラキシー再発危険因子は生の魚介類摂取である：後方視的観察研究

濱田 祐斗, 福富 友馬, 中谷 英仁, 上出 庸介, 関谷 潔史, 谷口 正実

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, Web 開催

[学会_一般演題]

1. 〈PP93〉NSAIDs 過敏喘息 (N-ERD) における Omalizumab から Dupilumab への切り替え効果

関谷 潔史, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 古川 善寛, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩田 真紀,
中村 祐人, 森 晶夫, 谷口 正実, 福富 友馬, 上出 庸介

第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催

2. 〈PP99〉睡眠呼吸障害への治療による慢性特発性蕁麻疹の症状変化について
永山 貴紗子, 関谷 潔史, 渡井 健太郎, 藤田 教寛, 岩田 真紀, 岩本 圭右, 中村 祐人,
矢野 光一, 濱田 祐斗, 劉 楷, 森 晶夫, 谷口 正実, 上出 庸介, 福富 友馬
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
3. 〈PP158〉経口ステロイド (OCS) 長期使用が高齢者喘息のフレイルに与える影響
劉 楷, 福富 友馬, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 岩田 真紀, 永山 貴紗子,
矢野 光一, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 森 晶夫, 桑野 和善,
谷口 正実, 関谷 潔史
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
4. 〈PP163〉レセプトデータから判別される喘息の診断妥当性
濱田 祐斗, 福富 友馬, 中谷 英仁, 長浜 誉佳, 永井 克彦, 永山 貴紗子, 富田 康裕,
渡井 健太郎, 上出 庸介, 関谷 潔史, 谷口 正実
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
5. 〈CB6-2〉EGPA 診断と治療の進歩
上出 庸介
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
6. 〈PP335〉内服ステロイド依存高齢者喘息に対する抗体製剤使用の効果
中村 祐人, 劉 楷, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 岩田 真紀, 永山 貴紗子,
矢野 光一, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 森 晶夫, 谷口 正実, 福富 友馬, 上出 庸介,
関谷 潔史
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
7. 〈PP481〉化学物質過敏症における網羅的遺伝子解析
渡井 健太郎, 関谷 潔史, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩田 真紀, 永山 貴紗子,
中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 林 浩昭, 福富 友馬, 上出 庸介, 谷口 正実
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
8. 〈PP671〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の副鼻腔病変と臨床背景・予後
岩田 真紀, 関谷 潔史, 福富 友馬, 濱田 祐斗, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 永山 貴紗子,
中村 祐人, 矢野 光一, 劉 楷, 渡井 健太郎, 森 晶夫, 谷口 正実
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
9. 〈PP674〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の活動性と血清中 galectin-10 は相関する
上出 庸介, 福地 峰世, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 矢野 光一, 岩田 真紀,
永山 貴紗子, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 渡井 健太郎, 林 浩昭, 森 晶夫,
谷口 正実, 福富 友馬, 植木 重治, 関谷 潔史
第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 2022. 4, 京都市・Web 開催
10. 〈若手向け教育セッション〉呼吸器内科医がしておくべきと役立つアレルギー疾患
上出 庸介
第 249 回日本呼吸器学会関東地方会, 2022. 5, 東京・Web 開催

11. 〈P8-2〉睡眠呼吸障害治療後の慢性特発性蕁麻疹の症状変化について

永山 貴紗子, 関谷 潔史, 渡井 健太郎, 藤田 教寛, 岩田 真紀, 岩本 圭右, 矢野 光一,
中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 森 晶夫, 谷口 正実, 上出 庸介, 福富 友馬

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, Web 開催

12. 〈P22-6〉NSAIDs 過敏喘息における Omalizumab から Dupilumab への切り替え効果

関谷 潔史, 濱田 祐斗, 河崎 裕一郎, 岩田 真紀, 中村 祐人, 森 晶夫, 渡井 健太郎,
谷口 正実, 福富 友馬, 上出 庸介

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, Web 開催

13. 〈LS3-2〉乳幼児期発症食物アレルギー患者の成人診療科への移行：成人側の視点

福富 友馬

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

[学術講演・他]

1. 〈一般演題 2〉経口ステロイド (OCS) 長期使用が高齢者喘息のフレイルに与える影響

劉 楷, 福富 友馬, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 岩田 真紀, 永山 貴紗子,
矢野 光一, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 森 晶夫, 桑野 和善,
谷口 正実, 関谷 潔史

第 20 回 Kinki Hokuriku Airway disease Conference, 2022. 4, Web 開催

2. 〈講演〉コントロール不良を防ぐ喘息治療の組み立て方～トリプル製剤は要となるか～

上出 庸介

テリルジー WEB 講演会「トータルコントロールを目指した喘息治療の潮流とは」, 2022. 5, Web 開催

3. 重症 (難治性) 喘息と診断する前にすべきこと・できること

関谷 潔史

第 698 回医療技術セミナースキルアップ, 2022. 5, 東京

4. 〈LECTURE I〉重症喘息治療におけるアンメットニーズと新たな展望

関谷 潔史

Scientific Exchange Meeting in 多摩 2022, 2022. 5, Web 開催

5. 喘息患者の QOL を上げるために Dupilumab をどう使いこなすか

関谷 潔史

AiRwayMeeting (デュピクセント双方向コミュニケーション WEB 講演会), 2022. 5,
Web 開催 (海老名市)

6. 喘息患者の QOL を上げるために Dupilumab をどう使いこなすか

関谷 潔史

AiRwayMeeting (デュピクセント双方向コミュニケーション WEB 講演会), 2022. 5,
Web 開催 (町田市)

7. 喘息診療への新たなアプローチ 新しい検査「Asp f 1 (アスペルギルス由来)」の活用法

福富 友馬

診療に役立つアレルギー検査 Web Seminar Vol. 2, 2022. 6, Web 開催

8. 〈一般講演〉重症喘息診療におけるアンメットニーズ
上出 庸介
Severe asthma & COPD ONline Expart seminar, 2022. 6, 横浜市
9. 〈特別講演〉喘息における真菌アレルギー感作
福富 友馬
FIRST, 2022. 6, Web 開催
10. 〈講演〉重症喘息診療における生物学的製剤への期待
関谷 潔史
重症喘息治療 update 山形 web 講演会, 2022. 6, Web 開催
11. 〈特別講演〉重症喘息における生物学的製剤の使い分け
関谷 潔史
Severe Asthma Conference, 2022. 6, Web 開催
12. 〈Lecture2〉重症喘息治療薬 抗体製剤の使い分け
関谷 潔史
Asthma expert meeting ～費用対効果から考える重症喘息治療～, 2022. 6, Web 開催
13. 〈講演Ⅱ〉重症喘息と診断する前にすべきこと～アレルギーの重要性も含めて～
関谷 潔史
第1回 Cross-Allergic Immunology in HOKKAIDO, 2022. 6, Web 開催
14. 〈特別講演〉重症喘息の治療戦略
関谷 潔史
町田市・相模原市 Summit, 2022. 6, Web 開催
15. 〈Session2〉重症喘息診療における生物学的製剤への期待
関谷 潔史
重症喘息の治療戦略を考える会 in SAITAMA, 2022. 7, さいたま市・Web 開催
16. 化学物質過敏症（特発性環境不耐症）
渡井 健太郎
第16回相模原臨床アレルギーセミナー, 2022. 8, Web 開催
17. 重症喘息の病態と治療戦略
関谷 潔史
第16回相模原臨床アレルギーセミナー, 2022. 8, Web 開催
18. 呼気 NO
上出 庸介
第16回相模原臨床アレルギーセミナー, 2022. 8, Web 開催
19. 吸入性アレルギー
福富 友馬

第 16 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2022. 8, Web 開催

20. 専門医試験に必要な基礎アレルギー学

森 晶夫

第 16 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2022. 8, Web 開催

21. 〈Session2〉“難治性”喘息に対する治療戦略

上出 庸介

高崎市重症喘息講演会, 2022. 8, Web 開催

22. 〈一般演題〉成人喘息におけるレセプトデータ研究

濱田 祐斗

Allergy Expert Meeting in Kanagawa, 2022. 9, Web 開催

23. 好酸球実数化のメリット

関谷 潔史

好酸球 Week TVsymposium Series, 2022. 10, Web 開催

24. 〈特別講演〉成人の食物アレルギー

福富 友馬

第 15 回 Dermatology Topics in Kanazawa, 2022. 10, 金沢市・Web 開催

25. 〈特別講演〉成人の食物アレルギー：最近の話題とアトピー性皮膚炎の関与

福富 友馬

第 34 回広島皮膚アレルギーワークショップ, 2022. 10, 広島市・Web 開催

26. 〈特別講演 1〉喘息診療における IgE 抗体価検査：どのように患者指導に生かすか

福富 友馬

第 2 回湘南鎌倉アレルギーセミナー, 2022. 10, 鎌倉市

27. 実践アレルギー講座 8 成人のアレルギー

福富 友馬

2022 年度 アレルギー相談員養成研修会, 2022. 10, Web 開催

28. 〈特別講演〉重症喘息と診断する前にすべきこと～アレルゲンの重要性も含めて～

関谷 潔史

Respiratory Physician Expert Seminar, 2022. 11, 横浜市

29. 〈特別講演〉重症喘息治療における新時代

上出 庸介

The Next ERA, 2022. 11, Web 開催

30. 〈特別講演〉喘息診療における吸入性アレルゲンの同定の重要性

福富 友馬

第 15 回愛媛小児吸入療法研究会, 2022. 11, Web 開催

31. 〈特別講演〉重症喘息の診断と治療を再考する
上出 庸介
第2回山形若手医師のための呼吸器セミナー～極める呼吸器～, 2022. 11, Web 開催
32. 〈特別講演Ⅱ〉重症喘息と診断する前にすべきこと～アレルゲンの重症性も含めて～
関谷 潔史
Kurashiki Asthma Seminar 2022, 2022. 11, 倉敷市
33. 〈一般演題「食物アレルギー」〉カバノキ科花粉関連と考えられていた GRP によるモモアレルギー
東 咲江, 関谷 潔史, 濱田 祐斗, 遠藤 信幸, 河崎 裕一郎, 岩田 真紀, 中村 祐人,
小澤 貴裕, 福富 友馬, 上出 庸介
第8回日本アレルギー学会関東地方会, 2022. 12, Web 開催
34. EGPA 新たな治療戦略
関谷 潔史
GSK EGPA seminar in 鹿児島, 2022. 12, 鹿児島市
35. 〈講演〉重症喘息と診断する前にすべきこと～アレルゲンの重要性も含めて～
関谷 潔史
第4回日本アレルギー学会 東北地方会 教育セミナー, 2023. 1, 仙台市
36. 長引く咳の考え方-新たな治療薬リフヌア®への期待-
関谷 潔史
慢性咳嗽セミナー, 2023. 1, Web 開催
37. 〈ディスカッション〉重症喘息 BIO 5 製剤時代での最適な治療戦略を考える
上出 庸介
ファセンラ5周年記念講演会 『好酸球フォーラム in 神奈川』, 2023. 2, 横浜市・Web 開催
38. 下気道実習/基礎コース 呼気一酸化窒素 (FeNo) 測定
関谷 潔史
第2回気道アレルギー実習セミナー, 2023. 2, 名古屋市
39. 〈特別講演〉花粉食物アレルギー症候群の最新情報とアナフィラキシーガイドラインの改定
福富 友馬
第11回隅田川アレルギー研究会, 2023. 2, Web 開催
40. 〈特別講演〉長引く咳の主な原因と治療法
関谷 潔史
2月薬学合同研修会, 2023. 2, Web 開催
41. Selective Seminar for Severe asthma
関谷 潔史
Selective Seminar for Severe asthma, 2023. 2, Web 開催

42. COVID-19 ワクチン 3 回目投与後に好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) を発症したと考えられた **ki** 喘息患者 1 例

遠藤 信幸, 濱田 祐斗, 岩田 真紀, 河崎 裕一郎, 中村 祐人, 小澤 貴裕, 上出 庸介,
関谷 潔史

第 685 回日本内科学会関東地方会, 2023. 3, 東京・Web 開催

43. 〈セッション I〉重症喘息診療における生物学的製剤への期待

関谷 潔史

Severe AsthmaStrategy × Cross Talk, 2023. 3, Web 開催

小児アレルギー分野

■英文原著・短報

1. **World Allergy Organization (WAO) Diagnosis and Rationale for Action against Cow's Milk Allergy (DRACMA) Guideline update – XIV – Recommendations on CMA immunotherapy.**

Brozek JL, Ebisawa M, et al

World Allergy Organization Journal . 2022 Apr; 15(4): 100646

2. **Capsicum Allergy: Involvement of Cap a 7, a New Clinically Relevant Gibberellin-Regulated Protein Cross-Reactive With Cry j 7, the Gibberellin-Regulated Protein From Japanese Cedar Pollen**

Takei M, Nin C, Iizuka T, Pawlikowski M, Selva MA, Chantran Y, Nakajima Y, Zheng J, Aizawa T, Ebisawa M, Sénéchal H, Poncet P

Allergy Asthma Immunology Research. 2022 May; 14(3): 328–338

3. **One-year safety and tolerability of tezepelumab in Japanese patients with severe uncontrolled asthma: results of the NOZOMI study.**

Shinkai M, Ebisawa M, Fukushima Y, Takeuchi S, Okada H, Tokiyo T, Hayashi N, Takikawa M, Colice G, Almqvist G

Journal of Asthma. 2022 Jun; 60(3): 616–624

4. **Presentation of airway and general symptoms in Covid-19 caused by dominant SARS-CoV-2 variants: a follow-up on ARIA consensus**

Hagemann J, et al. , ARIA group:Ebisawa M, et al

Allergy. 2022 Jun; 10. 1111/all. : 15416

5. **Cross-reactivity of each fraction among cereals in children with wheat allergy.**

Takei M, Saito A, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Jul; 33(7): e13831

6. **Diversities of allergic pathologies and their modifiers: Report from the second DGAKI-JSA meeting.**

Asano K, Tamari M, Zuberbier T, Yasudo H, Morita H, Fujieda S, Nakamura Y, Traidl S, Hamelmann E, Raap U, Babina M, Nagase H, Okano M, Katoh N, Ebisawa M, Renz H, Izuhara K, Worm M

Allergology International. 2022 Jul; 71(3): 310–317

7. **Threshold and safe ingestion dose among infants sensitized to hen's egg.**

Mitomori M, Yanagida N, Nishino M, Takahashi K, Nagakura KI, Ogura K, Takei M, Sato S, Ebisawa M

Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Jul; 33(7): e13830

- 8. Evaluation of adrenaline auto-injector prescription profiles: A population-based, retrospective cohort study within the National Insurance Claims Database of Japan**
 Sato S, Kainuma K, Noda T, Ebisawa M, Futamura M, Imamura T, Miyagawa A, Nakajima S, Ogawa Y, Inomata T, Kan-O K, Kurashima Y, Masaki K, Myojin T, Nishioka Y, Sakashita M, Tamari M, Morita H, Adachi T.
Allergology International. 2022 Jul; 71(3): 354–361
- 9. Ana o 3 sIgE and diagnostic algorithms reduce cost of cashew allergy diagnosis in children compared with skin prick test: A cost comparison analysis**
 Brettig T, Dalziel K, Koplin JJ, Dang T, Lange L, McWilliam V, Sato S, Savvastianos S, Perrett KP
Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Aug; 33(8):
- 10. Efficacy and safety of tezepelumab in patients recruited in Japan who participated in the phase 3 NAVIGATOR study.**
 Ishizuka T, Menzies-Gow A, Okada H, Fukushima Y, Hayashi N, Colice G, Ponnarambil S, Hunter G, Odajima H, Ebisawa M
Allergology International. 2022 Aug; S1323–8930(22): 00082–X
- 11. Macadamia nut-specific IgE levels for predicting anaphylaxis.**
Kubota K, Nagakura KI, Itonaga T, Sato S, Ebisawa M, Yanagida N
Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Sep; 33(9): e13852
- 12. World Allergy Organization (WAO) Diagnosis and Rationale for Action against Cow's Milk Allergy (DRACMA) guideline update – XIII – Oral immunotherapy for CMA – Systematic review**
 Bognanni A, et al. : WAO DRACMA Guideline Group:Ebisawa M, et al
 World Allergy Organization Journal 2022. Sep; 15(9): 100682
- 13. Efficacy of dupilumab in patients with uncontrolled, moderate-to-severe asthma recruited from Japanese centers in the phase 3 LIBERTY ASTHMA TRAVERSE study.**
 Tohda Y, Nakamura Y, Fujisawa T, Ebisawa M, Msihid J, Djandji M, Ortiz B, Jacob-Nara JA, Deniz Y, Rowe PJ, Ishida M, Arima K
Allergology International. 2022 Sep; 72(1): 89–99
- 14. Systematic review of monotherapy with biologicals for children and adults with IgE-mediated food allergy.**
 de Silva D, Singh C, Arasi S, Muraro A, Zuberbier T, Ebisawa M, Alvaro Lozano M, Roberts G
Clinical and Translational Allergy. 2022 Sep; 12(9): e12123
- 15. Updated threshold dose-distribution data for sesame**
 Turner PJ, Gretzinger M, Patel N, Brough H, Chinthrajah RS, Ebisawa M, Elizur A, Koplin JJ, Peters RL, Purington N, Nowak-Wegrzyn A, Saf S, Sampson HA, Westerhout J, Blom WM, Baumert JL, Houben GF, Remington BC
Allergy. 2022 Oct; 77(10): 3124–3162

- 16. Updated full range of Eliciting Dose values for Cow's milk for use in food allergen risk assessment.**
Blom WM, Westerhout J, Baumert JL, Meima MY, Turner PJ, Ebisawa M, Yanagida N, Remington BC, Houben GF
Food and Chemical Toxicology. 2022 Oct; 168: 113381
- 17. Risk Factors for Lung Function Decline in Pediatric Asthma under Treatment: A Retrospective, Multicenter, Observational Study.**
Yamada S, Fujisawa T, Nagao M, Matsuzaki H, Motomura C, Odajima H, Nakamura T, Imai T, Nagakura KI, Yanagida N, Mitomori M, Ebisawa M, Kabashima S, Ohya Y, Habukawa C, Tomiita M, Hirayama M
Children (Basel).. 2022 Oct; 9(10): 1516
- 18. Phenotyping of immediate-type food allergies based on 10years of research: A latent class analysis**
Takahashi K, Yanagida N, Itonaga T, Nishino M, Nagakura KI, Ogura K, Sato S, Ebisawa M
Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Nov; 33(11): 13873
- 19. Clinical cross-reactivity of wheat and barley in children with wheat allergy**
Yanagida N, Takei M, Saito A, Sato S, Ebisawa M
Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Nov; 33(11): 13878
- 20. Real-world data using mHealth apps in rhinitis, rhinosinusitis and their multimorbidities**
Sousa-Pinto B, Ebisawa M, et al
Clinical and Translational Allergy. 2022 Nov; 12(11): e12208
- 21. Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Comparison of Epinephrine administered intranasally and intramuscularly: an integrated analysis.**
Tanimoto S, Kaliner M, Lockey RF, Ebisawa M, Koplowitz LP, Koplowitz B, Lowenthal R
Annals of Allergy, Asthma and Immunology. 2022 Nov; 130(4): 508-514
- 22. Risk factors for failing a repeat oral food challenge in preschool children with hen's egg allergy.**
Nishino M, Yanagida N, Sato S, Nagakura KI, Takahashi K, Ogura K, Ebisawa M
Pediatric Allergy and Immunology. 2022 Dec; 33(12): e13895
- 23. Sensitization to macadamia 7S globulin amino-terminus with clinical relevance in Japanese children with macadamia nut allergy**
Ando T, Kitaura J, Maruyama N, Narita M, Miura K, Takasato Y, Nogami K, Nagao M, Okumura K, Ogawa H, Onishi H, Watanabe T, Ito K, Fujisawa T, Ebisawa M, Kawakami T, Matsumoto K, Hasegawa S, Ohya Y, Yasudo H
Allergology International 2022. Dec; 72(2): 351-353

- 24. Current situation of anaphylaxis in Japan: Data from the anaphylaxis registry of training and teaching facilities certified by the Japanese Society of Allergy – secondary publication.**
Sato S, Yanagida N, Ito K, Okamoto Y, Saito H, Taniguchi M, Nagata M, Hirata H, Yamaguchi M, Pawankar R, Ebisawa M
Allergology International. 2022 Dec; S1323-8930(22): 00140-X
- 25. WAO consensus on DEfinition of Food Allergy SEverity (DEFASE).**
 Arasi S, Ebisawa M et al
World Allergy Organization Journal. 2023 Mar; 16(3): 100753
- 26. Barrier Factors of Adherence to Dupilumab Self-Injection for Severe Allergic Disease: A Non-Interventional Open-Label Study**
 Hosoya K, Komachi T, Masaki K, Suzaki I, Saeki H, Kanda N, Nozaki M, Kamide Y, Matsuwaki Y, Kobayashi Y, Ogino E, Osada SI, Usukura N, Kurumagawa T, Ninomia J, Asako M, Nakamoto K, Yokoi H, Ohyama M, Tanese K, Kanzaki S, Fukunaga K, Ebisawa M, Okubo K
Patient Preference and Adherence. 2023 Mar; 17: 861-872
- 27. Relationship between serum allergen-specific immunoglobulin E and threshold dose in an oral food challenge**
Yanagida N, Sato S, Nagakura KI, Takahashi K, Fusayasu N, Miura Y, Itonaga T, Ogura K, Ebisawa M
Pediatric Allergy and Immunology. 2023 Mar; 34(3): e13926
- 28. Enhanced early skin treatment for atopic dermatitis in infants reduces food allergy**
 Yamamoto-Hanada K, Kobayashi T, Mikami M, Williams HC, Saito H, Saito-Abe M, Sato M, Irahara M, Miyaji Y, Ishikawa F, Tsuchiya K, Tamagawa-Mineoka R, Takaoka Y, Takemura Y, Sato S, Wakiguchi H, Hoshi M, Natsume O, Yamaide F, Seike M, Ohya Y; PACI Study investigators.
Journal of Allergy and Clinical Immunology. 2023 Mar; S0091-6749(23): 00331-7

■英文総説・著書

- 1. Recent advances in diagnosing and managing nut allergies with focus on hazelnuts, walnuts, and cashew nuts**
 Borres MP, Sato S, Ebisawa M
World Allergy Organization Journal 2022. 4; 15(4): 100641
- 2. Editorial comments on: “Food allergy in early childhood increases the risk of pollen food allergy syndrome”.**
 Eigenmann P, Ebisawa M
Pediatric Allergy and Immunology 2022. 5; 33(5): e13788
- 3. WAO-ARIA consensus on chronic cough – Part III: Management strategies in primary and cough-specialty care. Updates in COVID-19.**
 Rouadi PW, Ebisawa M, et al
World Allergy Organization Journal 2022. 5; 15(5): 100649

4. Standards for practical intravenous rapid drug desensitization & delabeling: A WAO committee statement.

Alvarez-Cuesta E, et al, Collaborators: Ebisawa M, et al

World Allergy Organization Journal 2022. 5; 15(6): 100640

5. Personalized management for unmet needs with food allergy.

Miura Y, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

Current Opinion in Allergy and Clinical Immunology 2022. 6; 22(3): 160-166

6. Managing food allergy: GA2LEN guideline 2022.

Muraro A, Ebisawa M et al

World Allergy Organization Journal 2022. 9; 15(9): 100687

7. Editorial Comment on: The role of short-term grass pollen exposure in food skin-prick test reactivity, food allergy, and eczema flares in children.

Ebisawa M, Eigenmann P

Pediatric Allergy and Immunology 2022. 10; 33(10): e13866

8. Varying Approaches to Management of IgE-Mediated Food Allergy in Children Around the World.

Lloyd M, Loke P, Mack DP, Sicherer SH, Perkin MR, Boyle R, Yin Leung AS, Lee BW, Levin M, Blumchen K, Fiocchi A, Ebisawa M, Oliveira LCL, Tang MLK

Journal of Allergy and Clinical Immunology 2023. 2; 11(4): 1010-1027

9. Prognosis of infantile food protein-induced enterocolitis syndrome to wheat: A case series

Nishino M, Yanagida N, Sato S, Nagakura KI, Takahashi K, Ogura K, Ebisawa M

Pediatric Allergy and Immunology 2023. 3; 34(3): e13940

10. Oral Immunotherapy in Food Allergy: Where Are We Now?

Özdemir PG, Sato S, Yanagida N, Ebisawa M

Allergy, Asthma and Immunology Research 2023. 3; 15(2): 125-144

■和文原著

1. 医薬品 副作用データベース (Japanese Adverse Drug Event Report database JADER) を利用した医薬品によるアナフィラキシー症例の解析

杉崎 千鶴子, 佐藤 さくら, 柳田 紀之, 海老澤 元宏

アレルギー 2022. 5; 71(3): 231-241

■和文総説・著書

1. 特集にあたって

海老澤 元宏

臨床栄養 2022. 4; 140(4): 433

2. 食物アレルギーの診断/ 食物経口負荷試験

佐藤 さくら

臨床栄養 2022. 4; 140(4): 455-461

3. [Column] 経口免疫療法

柳田 紀之

臨床栄養 2022. 4; 140(4): 479-482

4. 小児食物アレルギーの発症予防

久保田 慧, 永倉 顕一, 柳田 紀之, 海老澤 元宏

アレルギーの臨床 2022. 4; 42(4): 278-281

5. アナフィラキシーショックの対応

海老澤 元宏

ドクターサロン 2022. 4; 通巻 782 第 66 巻 第 5 号 5 月号: 13-16

6. 日常診療にガイドラインをどう生かすか こんなときどうする？ 重症持続型喘息患者に生物学的製剤を開始するタイミング・中止するタイミング

伊藤 環, 永倉 顕一

小児内科 2022. 5; 54(5): 781-786

7. 食物アレルギーの臨床的課題 経口免疫療法

佐藤 さくら, 海老澤 元宏

食物アレルギーのすべて 改訂第 2 版 2022. 6; : 257-267

8. 食物アレルギーの臨床的課題 アナフィラキシー

柳田 紀之, 海老澤 元宏

食物アレルギーのすべて 改訂第 2 版 2022. 6; : 202-215

9. 食物アレルギーを巡る国際的な動向

海老澤 元宏

食物アレルギーのすべて 改訂第 2 版 2022. 6; : 2-15

10. 食物アレルギーにおける免疫療法

佐藤 さくら

アレルギーの臨床 2022. 7; 42(7): 502-506

11. 食物経口負荷試験

佐藤 さくら, 山田 佳之

日本小児アレルギー学会誌 2022. 8; 36(3): 280-288

12. アナフィラキシーガイドライン 2022

海老澤 元宏

アナフィラキシーガイドライン 2022 2022. 8; :

13. アレルギー診療スキルアップ講座 No. 9 食物アレルギー：小児編

佐藤 さくら

新薬と臨牀 2022. 9; 71(9): 46-55

14. 食物アレルギー児に対して経口免疫療法もしくは栄養食事指導のどちらを行うべきか？
三浦 陽子, 海老澤 元宏
小児科診療 Controversy 2022. 9; 1: 178-183
15. 「特集」免疫療法の新たな展開—発症予防, 併存疾患への影響も含めて 経口免疫療法の到達点とこれからの展望
柳田 紀之, 二村 昌樹, 海老澤 元宏
アロス エルゴン 2022. 9; 2(3): 711-716
16. 食物アレルギー：最近の考え方
海老澤 元宏
小児科診療 2022. 10; 85(10): 1261-1266
17. 第11章 食物アレルギー
海老澤 元宏, 伊藤 浩明
アレルギー総合ガイドライン 2022 2022. 10; : 261-322
18. 序文
海老澤 元宏
日本アレルギー学会 アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き 2022. 11; : 1
19. 【ガイドライン解説】 食物アレルギー診療ガイドライン 2021 小児～成人まで
海老澤 元宏
アレルギー 2022. 12; 71(10): 1195-1200
20. 厚生労働科学研究班による食物アレルギーの栄養食事指導の手引き 2022
海老澤 元宏
厚生労働科学研究班による食物アレルギーの栄養食事指導の手引き 2022 2022. 12; :
21. ガイドライン解説：食物アレルギー診療ガイドライン 2021 第12章 ピーナッツ, 木の
実類, 大豆, ゴマ, ソバ
永倉 顕一, 佐藤 さくら
日本小児アレルギー学会誌 2022. 12; 36(5): 562-567
22. 食物アレルギー
佐藤 さくら
レジデント 2023. 1; 16(1): 40-50
23. 誌上シンポジウム アレルギー総合ガイドライン 2022 のエッセンス 食物アレルギー
海老澤 元宏
アレルギーア 2023. 1; 51: 32-35
24. アナフィラキシー
海老澤 元宏
小児科診療ガイドライン 2023. 1; : 620-625

25. 小児アレルギー教育セミナー (Pediatric Allergy Skill Up Course : PASC0) 北海道特別報告
大竹 直人, 西本 創, 佐藤 さくら, 伊藤 靖典, 藤澤 隆夫, 足立 雄一
日本小児アレルギー学会誌 2023. 3; 37: s15-s18

26. まえがき
海老澤 元宏

わかりやすいアレルギーの手引き《2023年版》 2023. 3; :

27. 第9章 食物アレルギー
海老澤 元宏

わかりやすいアレルギーの手引き《2023年版》 2023. 3; : 64-76

■国際発表

[学会_シンポジウム]

1. Tratamiento biológico en Alergia Alimentaria

Ebisawa M

AAAeIC III Biological Therapy Forum 2022
2022 Jun, Argentina

2. 〈Workshop 12〉 Wheat, Fish, and other Foods Immunotherapy: Where are we?

Makela M, Ree RV, Ebisawa M

GA²LEN ANACARE Food Allergy and Anaphylaxis Forum GAFA 2022
2022 Sep, Italy

3. 〈Topic 4〉 Component Resolved Diagnosis for food allergy

Ebisawa M

ASPR 2022
2022 Sep, 中国 深圳・Web 開催

4. OIT

Ebisawa M

UANL XXXIII Highlights Alergia y Asma Hot Topics
2022 Sep, Mexico

5. Allergen components and diagnosis of allergic diseases

Sato S

WAC2022
2022 Oct, Istanbul, Turkey

6. Oral food challenges for shrimp allergy

Yanagida N

WAC2022
2022 Oct, Istanbul, Turkey

7. 〈PL-5〉 Oral and sublingual immunotherapy for food allergy

Ebisawa M

8. 〈Module 4〉 Allergy Testing

Ebisawa M

WAO & CMEA
2022 Oct, 中国

9. 〈Module 5〉 Food Allergy

Ebisawa M

WAO & CMEA
2022 Oct, 中国

10. 〈Module 7〉 Atopic Dermatitis

Ebisawa M

WAO & CMEA
2022 Oct, 中国

11. 〈Module 12〉 Anaphylaxis

Ebisawa M

WAO & CMEA
2022 Oct, 中国

12. 〈PLENARY ISMA Plenary 1〉 Update on AIT of Food Allergy

Ebisawa M

ISMA-RHINA
2022 Nov, Web 開催

13. 〈President Lecture 1〉 Food allergy management in Japan

Ebisawa M

APAPARI2022
2022 Nov, Ginowan・Web 開催

14. 〈Symposium 5-1〉 Advances in food allergy management based on oral food challenge

Sato S, Yanagida N, Ebisawa M

APAPARI2022
2022 Nov, Ginowan・Web 開催

15. 〈Symposium 7-1〉 Peanut allergy

Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

APAPARI2022
2022 Nov, Ginowan・Web 開催

16. 〈ランチオンセミナー 12-2〉 Recent trends in diagnosis and management of tree nut allergy

佐藤 さくら, 海老澤 元宏

APAPARI2022

17. 〈SY(T4)3-2〉 **food allergy management in Japan**

Ebisawa M

22nd IUNS-International Congress of Nutrition
2022 Dec, Tokyo, Japan

18. 〈SY(T4)3-3〉 **Nutritional guidance in food allergy**

Hayashi N

22nd IUNS-International Congress of Nutrition
2022 Dec, Tokyo, Japan

19. 〈Workshop 2〉 **Molecular Allergy Diagnostics: When & What to Order? How to Interpret?**

Ebisawa M

WAO-PASAAI
2023 Jan, Dubai, UAE

20. 〈Plenary Session 4〉 **Oral Food Allergen Immunotherapy: The Nuts & Bolts and Future Directions**

Ebisawa M

WAO-PASAAI
2023 Jan, Dubai, UAE

[学会_一般演題]

1. **Safety of the oral food challenge during the coronavirus disease 2019 (COVID-19) pandemic**

Hara S, Yanagida N, Ogura K, Itonaga T, Miura Y, Fusayasu N, Nagakura KI, Ejiri Y,
Sato S, Ebisawa M

WAC2022
2022 Oct, Istanbul, Turkey

2. **Increasing tree nuts allergies, especially walnut by past 20 years nationwide survey in Japan**

Sugizaki C, Sato S, Ebisawa M

WAC2022
2022 Oct, Istanbul, Turkey

3. 〈LB-PP-32〉 **DIFFICULT-TO-MANAGE FOOD ALLERGY: RESULTS FROM THE WAO FASE SURVEY**

Fiocchi A, Ebisawa M, et al

WAC2022
2022 Oct, Istanbul, Turkey

4. 〈LB-PP-33〉 **COMMON FOOD ALLERGENS: RESULTS FROM THE WAO-FASE SURVEY**

Fiocchi A, Ebisawa M, et al

WAC2022
2022 Oct, Istanbul, Turkey

5. **〈LB-PP-34〉 FREQUENCY AND SEVERITY OF FOOD ALLERGY OVER THE PAST 10 YEARS: RESULTS FROM THE WAO-FASE SURVEY**

Fiocchi A, Ebisawa M, et al

WAC2022

2022 Oct, Istanbul, Turkey

6. **〈LB-PP-35〉 QUALITY OF LIFE IN FOOD ALLERGY: RESULTS FROM THE WAO-FASE SURVEY**

Fiocchi A, Ebisawa M, et al

WAC2022

2022 Oct, Istanbul, Turkey

7. **〈OP-35〉 Non-immediate adverse reactions during the first three years of oral immunotherapy for food allergy**

Kodachi T, Fusayasu N, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

WAC2022

2022 Oct, Istanbul, Turkey

8. **〈LB-OP-05〉 ANAPHYLAXIS AMONG FOOD ALLERGY: RESULTS FROM THE WAO-FASE SURVEY**

Fiocchi A, Ebisawa M, et al

WAC2022

2022 Oct, Istanbul, Turkey

9. **〈AO-14〉 Risk factors of positive results in cow's milk low-dose oral food challenge : a multicenter retrospective study in Japan**

Sakaguchi Y, Nagakura KI, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Miura K, Fukuie T, Ito K, Nagao M, Okafuji I, Ogata M, Koike Y, Kawada Y, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

10. **〈AO-15〉 Risk factors of positive results in the low-dose peanut oral food challenge : a multicenter retrospective study in Japan.**

Itabashi K, Nagakura KI, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Miura K, Fukuie T, Ito K, Nagao M, Okafuji I, Ogata M, Koike Y, Kawada Y, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

11. **〈AO-16〉 Most wheat-allergic patients can safely consume barley tea**

Yanagida N, Takakei M, Sato S, Nagakura KI, Takahashi K, Ogura K, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

12. 〈AO-17〉 Risk factors for an aversion to eggs after negative oral food challenge in children with egg allergies : a multicenter questionnaire survey in Japan

Fusayasu N, Asaumi T, Nagakura KI, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Emura S, Murano A, Konno H, Shibukawa Y, Suzuki M, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

13. 〈AO-19〉 Low-dose oral immunotherapy for multiple tree nut or peanut allergy : 2-year follow-up

Ito Y, Ogura K, Takahashi K, Nagakura KI, Ejiri Y, Fusayasu N, Itonaga T, Miura Y, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

14. 〈AO-2〉 Early neonatal hen's egg ingestion for prevention of immediate type egg allergy:A multicenter randomized controlled trial.

Nagakura KI, Sato S, Shinahara W, Kido H, Fujita H, Yanai T, Akiyama N, Futamura M, Koga H, Fujiwara M, Kaneko H, Taniguchi H, Makita E, Takahashi K, Yanagida N, Urashima M, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

15. 〈AO-32〉 Clinical features of food allergy patients developed during school age

Ogura K, Itonaga T, Miura Y, Fusayasu N, Nagakura KI, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

16. 〈AP-31〉 Efficacy and safety of low-dose oral immunotherapy combined with Lactisacibacillus rhamnosus GG for children with severe peanut allergy

Miura Y, Harata G, Nagakura KI, Wang R, Miyazawa K, Sato S, Ebisawa M, Yanagida N

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

17. 〈AP-35〉 An analysis of 62 oral food challenge to horse mackerel

Aihara H, Nishino M, Chiyotanda M, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

18. 〈AP-37〉 Risk factors of positive results in hen's egg low-dose oral food challenge : a multicenter retrospective study in Japan

Kodachi K, Fusayasu N, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Miura K, Fukuie T, Ito K, Nagao M, Okafuji I, Ogata M, Koike Y, Kawada Y, Ebisawa M

APAPARI2022

2022 Nov, Ginowan・Web 開催

19. 〈AP-38〉 Risk factors of positive results in wheat low-dose oral food challenge : a multicenter retrospective study in Japan

Ito T, Miura Y, Takahashi K, Sato S, Yanagida N, Miura K, Fukuie T, Ito K,
Nagao M, Okafuji I, Ogata M, Koike Y, Kawada Y, Ebisawa M

APAPARI2022
2022 Nov, Ginowan・Web 開催

20. 〈AO-33〉 Increased and stronger tree nutsensitization trend in Japanese children over the last two decades

Itonaga T, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

APAPARI2022
2022 Nov, Ginowan・Web 開催

[学術講演・他]

1. 〈Presidents' Welcome Keynote lecture(s)〉 Oral and sublingual Immunotherapy for food Allergy

Ebisawa M

WAO & BSACI 2022 UK conference
2022 Apr, EICC Edinburgh Scotland

2. Presentation of Japanese data in small Children

Ebisawa M

ALK
2023 Jan, Copenhagen, Danmark

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈S3-3〉 食物経口負荷試験に基づく食物アレルギー管理の進歩

佐藤 さくら

第 125 回日本小児科学会, 2022. 4, 郡山市

2. 〈SY3-2〉 食物アレルギー治療の“今”を考える

佐藤 さくら

第 38 回日本小児臨床アレルギー学会, 2022. 7, 東京

3. 〈教育講演 1〉 食物アレルギー診療の未来

海老澤 元宏

第 38 回日本小児臨床アレルギー学会, 2022. 7, 東京

4. 〈シンポジウム 6〉 食物アレルギーの診療における課題と解決への取り組み

柳田 紀之

第 38 回日本小児臨床アレルギー学会, 2022. 7, 東京

5. 〈アフタヌーンセミナー〉 腸内細菌叢とアレルギー疾患

海老澤 元宏

第 25 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会, 2022. 9, 東京

6. 〈SY4-3〉 ナッツ類の臨床的な交差反応性

佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

7. 〈SY9〉 司会のことば

海老澤 元宏, 伊藤 浩明

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

8. 〈SY9-4〉 食物アレルギーにおける免疫療法の位置づけ

柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

9. 〈SP1-4〉 JSA100 周年に向けてのビジョン

海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

10. 〈EL18〉 JSA アナフィラキシーガイドライン 2022 改訂のポイント

海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

11. 〈シンポジウム 2-1〉 学会と中心拠点病院の役割

海老澤 元宏

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

12. 〈シンポジウム 5-3〉 ピーナッツアレルギー・大豆アレルギー

永倉 顕一, 海老澤 元宏

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

13. 〈共催シンポジウム 1-2〉 低年齢児に対する舌下免疫療法の取り組み

佐藤 さくら, 笹本 光紀, 海老澤 元宏

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

14. 〈ジョイントセッション 4〉 ENGAGE x UJA 留学のすゝめ 2022@JSPACI-APAPARI
Joint Congress

佐藤 さくら, 森田 英明, 貝沼 圭吾, 二村 昌樹, 倉島 洋介, 本間 耕平, 足立 剛也

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

15. 〈シンポジウム 10-3〉 アナフィラキシーの定義と対応方法

佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

16. 〈シンポジウム 14-4〉 経口免疫療法 最近の話題

柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

17. 〈教育講演 5〉アナフィラキシーガイドライン 2022 改訂のポイント

海老澤 元宏

第 8 回日本アレルギー学会関東地方会, 2022. 12, 東京

18. 〈教育セミナー 1〉乳児期の湿疹と食物アレルギー～皮膚から考える管理と予防～

佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 8 回日本アレルギー学会関東地方会, 2022. 12, 東京

19. 〈特別プログラム I〉食物アレルギー患者への社会的対応の変遷

海老澤 元宏

第 23 回食物アレルギー研究会, 2023. 2, 横浜市・Web 開催

20. 〈特別プログラム II〉木の実類アレルギー

佐藤 さくら

第 23 回食物アレルギー研究会, 2023. 2, 横浜市・Web 開催

[学会_一般演題]

1. 〈EL24-4〉食物アレルギーの管理・治療の展望

海老澤 元宏

第 121 回日本皮膚科学会総会, 2022. 6, 京都市・Web 開催

2. 〈MS13-1〉少量以下の小麦経口負荷試験における『食物経口負荷試験の手引き 2020』のフローチャートの妥当性の検討

伊藤 環, 三浦 陽子, 高橋 亨平, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

3. 〈MS13-2〉鶏卵少量経口負荷試験における『食物経口負荷試験の手引き 2020』のフローチャートの妥当性の検討

小太刀 豪, 房安 直子, 高橋 亨平, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

4. 〈MS9-4〉1-4 歳の通年性アレルギー性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法の有効性・安全性の前方視的検討

笹本 光紀, 永倉 顕一, 佐藤 さくら, 浅海 智之, 房安 直子, 柳田 紀之, 土井 雅津代, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

5. 〈MS9-5〉ダニ舌下免疫療法における吐き出し法の臨床的有用性

坂口 裕紀, 房安 直子, 吉本 裕良, 高橋 亨平, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

6. 〈MS23-6〉青年期難治性アトピー性皮膚炎に対し dupilumab で加療し頭頸部紅斑を認めた 3 症例

原 周平, 糸永 宇慧, 西野 誠, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京

7. 〈MS44-1〉イクラ即時症状の既往の有無による陽性的中率の違いに関する検討
宮林 広樹, 永倉 顕一, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
8. 〈MS38-3〉小児における木の実類への感作状況の経年変化
糸永 宇慧, 高橋 亨平, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
9. 〈MS39-2〉マルチナッツの少量経口免疫療法 13 例の 2 年経過
伊藤 悠, 糸永 宇慧, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
10. 〈MS41-2〉アーモンドの Vicilin N 末端フラグメントの臨床性能の検討
丸山 伸之, 仲里 佳子, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
11. 〈O-53〉12 年間での相模原市コホート調査による 7 歳児のアレルギー疾患の有症率の推移 (第 8 報)
杉崎 千鶴子, 後藤 史子, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催
12. 〈P-25〉食物アレルギー診療ガイドライン 2021 の認知度と使用者アンケート調査
二村 昌樹, 伊藤 浩明, 海老澤 元宏
第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催
13. 〈MS-9〉低年齢児 (1-4 歳) 通年性アレルギー性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法による免疫学的変化
笹本 光紀, 佐藤 さくら, 永倉 顕一, 浅海 智之, 房安 直子, 柳田 紀之, 土井 雅津代, 海老澤 元宏
第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催
14. 〈一般演題〉経口免疫療法施行後に鶏卵への職業的曝露を契機に手湿疹の悪化と卵白特異的 IgE 値の再上昇を来した 2 例
千葉 友揮, 糸永 宇慧, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 8 回日本アレルギー学会関東地方会, 2022. 12, 東京
15. 〈一般演題〉豚・鶏のレバーに対する Food protein induced enterocolitis syndrome (FPIES) の 1 例
伊藤 環, 三浦 陽子, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏
第 8 回日本アレルギー学会関東地方会, 2022. 12, 東京
16. 〈一般演題 II〉ベイジアンベンチマークドーズ法によるアレルギー症状誘発確率の検討
高橋 亨平, 佐藤 さくら, 柳田 紀之, 海老澤 元宏
第 23 回食物アレルギー研究会, 2023. 2, 横浜市・Web 開催

17. 〈一般演題Ⅱ〉重症の牛乳アレルギー児に対する少量導入経口免疫療法の6年経過

三浦 陽子, 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第23回食物アレルギー研究会, 2023. 2, 横浜市・Web 開催

[学術講演・他]

1. 〈ミニ講演〉アレルギー疾患医療の近況

海老澤 元宏

第28回アレルギー週間講演会・患者相談会, 2022. 4, Web 開催

2. 〈特別講演〉食物アレルギーとアナフィラキシーに関する最近の話題

海老澤 元宏

第16回山口県小児科セミナー, 2022. 4, Web 開催

3. 食物アレルギーにおける危機管理の向上

佐藤 さくら

令和4年度食物アレルギー「管理者研修」, 2022. 4, 調布市

4. 食物アレルギー

佐藤 さくら

令和4年度第1回食に関する検討委員会, 2022. 6, 調布市

5. 〈講演〉食物アレルギー/アナフィラキシーの最近の話題

海老澤 元宏

令和4年第1回熊本県アレルギー疾患医療従事者等研修会, 2022. 6, Web 開催

6. 食物アレルギー

佐藤 さくら

海老名市食物アレルギー対策勉強会, 2022. 6, 海老名市

7. アレルギー疾患の理解と保育所におけるアレルギー対応ガイドライン

佐藤 さくら

令和4年度相模原市保育者ステップアップ研修, 2022. 6, 相模原市

8. 〈講演〉日常診療に役立つ食物アレルギーの診断・管理 ～新しい地域医療連携のかたち～

佐藤 さくら

小児の食物アレルギー オンライン講演会 in 宮崎, 2022. 7, Web 開催

9. 〈講演〉食物アレルギーをやっつけろ！！

佐藤 さくら

免疫ふしぎ未来 2022, 2022. 7, 東京・Web 開催

10. 〈特別講演2〉食物アレルギー診療ガイドラインの臨床現場での活用方法

海老澤 元宏

第27回アレルギー臨床懇話会, 2022. 8, Web 開催

11. ①小児気管支ぜん息の基礎知識と最新情報 ②ぜん息発症予防のためのアトピー性皮膚炎・食物アレルギーの基礎知識と患者教育の重要性
佐藤 さくら
令和4年度公害健康被害予防事業研修, 2022. 8, Web 開催
12. 給食施設における食物アレルギー対応～食物アレルギー診療ガイドライン 2021 の改訂点を踏まえて～
海老澤 元宏
第2回特定給食施設栄養管理講習会, 2022. 8, Web 開催
13. 食物アレルギー診療ガイドライン 2021 を食物アレルギーの栄養指導に活かす
海老澤 元宏
令和4年度栄養指導従事者教育研修事業, 2022. 8, 東京
14. 子ども達のための食物アレルギー教室
佐藤 さくら
NPO 法人相模原アレルギーの会主催 第29回講習会, 2022. 9, 相模原市
15. 〈特別講演〉食物アレルギー診療ガイドライン 2021 の解説
海老澤 元宏
横浜市小児科医会秋季研修会, 横浜市東部西部合同小児科医会, 2022. 9, 横浜市
16. アナフィラキシーガイドライン 2022 改定のポイント
海老澤 元宏
ヴィアトリス Web 講演会, 2022. 9, Web 開催
17. 実践アレルギー講座 1 食物アレルギー
海老澤 元宏
2022 年度アレルギー相談員養成研修会, 2022. 10, Web 開催
18. 閉会挨拶
海老澤 元宏
モイゼルト® 軟膏 発売記念講演会 in 東京, 2022. 11, Web 開催
19. 食物アレルギーの治療・管理と保育所での対応
佐藤 さくら
公益財団法人母子衛生研究会, 2022. 12, 東京
20. 当院でのリンヴォックの使用経験
糸永 宇慧
小児アトピー性皮膚炎を語る会, 2022. 12, Web 開催
21. 食物アレルギーについての正しい知識
佐藤 さくら
食物アレルギー講演会, 2022. 12, 海老名市

22. 自己紹介+食物アレルギー診療ガイドライン 2021 の解説
海老澤 元宏
第 24 回西間会, 2023. 1, 筑紫野市
23. 食物アレルギー治療の最新知識と, 適切な「エピペン」[®] 投与
海老澤 元宏
食物アレルギーの最新知識と緊急時対応の研修会, 2023. 1, Web 開催
24. 〈講演会〉飲食店における食物アレルギーへの対応
佐藤 さくら
食物アレルギー講演会(事業者向け), 2023. 1, 海老名市
25. 食物アレルギー診療ガイドライン 2021 を食物アレルギーの栄養指導に活かす
海老澤 元宏
2022 年度食物アレルギーフォローアップ研修, 2023. 2, Web 開催
26. 〈一般演題〉当院のアレルギー診療における治験や臨床研究の取り組み
三浦 陽子
相模原市医師会小児科医会月例懇話会, 2023. 2, Web 開催
27. アレルギー疾患に関する概要
海老澤 元宏
令和 4 年度短期研修アレルギー疾患対策従事者研修, 2023. 2, Web 開催
28. 〈Session2〉小児治療の最新 Topics～ステロイド外用剤の使用から食物アレルギーまで～
海老澤 元宏
ポートアイランド皮膚疾患研究会, 2023. 2, 神戸市
29. 〈特別講演〉食物アレルギーの管理・治療 UP TO DATE
佐藤 さくら
今知りたい!食物アレルギーについて, 2023. 3, Web 開催
30. アナフィラキシーガイドライン 2022
海老澤 元宏
第 9 回総合アレルギー講習会, 2023. 3, 大阪市
31. 〈実習〉食物経口負荷試験 実習 (責任者)
柳田 紀之
第 9 回総合アレルギー講習会, 2023. 3, 大阪市
32. 〈実習〉食物経口負荷試験 実習 (講師)
佐藤 さくら
第 9 回総合アレルギー講習会, 2023. 3, 大阪市
33. 〈イブニングシンポジウム 1〉小児期のアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法
佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第9回総合アレルギー講習会, 2023. 3, 大阪市

34. 食物アレルギーにおける抗原の交差性

佐藤 さくら

第9回総合アレルギー講習会, 2023. 3, 大阪市

35. 免疫療法 食物アレルギー

柳田 紀之, 海老澤 元宏

第9回総合アレルギー講習会, 2023. 3, 大阪市

リウマチ分野

1) 内科系リウマチ分野

■英文原著・短報

1. Lack of association of rs12702634 in RPA3-UMAD1 with interstitial lung diseases in Japanese rheumatoid arthritis patients.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tohma S

Biomarker Insights. 2022 Apr; 17: 11772719221091758

2. Detection of SARS-CoV-2 Nucleocapsid, Spike, and Neutralizing Antibodies in Vaccinated Japanese.

Midorikawa R, Nakama M, Furukawa H, Oka S, Higuchi T, Nagai H, Nagai N, Tohma S

Viruses. 2022 May; 14(5): 965

3. Predisposition of HLA-DRB1*04:01/ *15 heterozygous genotypes to Japanese mixed connective tissue disease.

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Komiya A, Matsui T, Fukui N, Suematsu E, Ohno S, Kono H, Katayama M, Nagaoka S, Migita K, Tohma S

Scientific Reports. 2022 Jun; 12(1): 9916

4. Clinical variables, including novel joint index, associated with future patient-physician discordance in global assessment of rheumatoid arthritis (RA) disease activity based on a large RA database in Japan.

Yamamoto Y, Sawada T, Nishiyama S, Tahara K, Hayashi H, Mori H, Kato E, Tago M, Matsui T, Tohma S

International Journal of Rheumatic Diseases. 2022 Sep; 25(9): 1020-1028

5. Reversible improvement of arterial stenosis and wall thickness in Takayasu Arteritis through treatment with tocilizumab

Nogi S, Yano Y, Kodama K, Tsuno H, Ogihara H, Kawakami M, Ohmori T, Sato S, Matsui T

Annals of Internal Medicine: Clinical Cases. 2022 Nov; :

6. Branched chain amino acids in the treatment of polymyositis and dermatomyositis: a phase II/III, multi-center, randomized controlled trial.

Kimura N, Kawahara T, Uemura Y, Atsumi T, Sumida T, Mimura T, Kawaguchi Y, Amano H, Iwasaki Y, Kaneko Y, Matsui T, Muro Y, Imura Y, Kanda T, Tanaka Y, Kawakami A, Jinnin M, Ishii T, Hiromura K, Miwa Y, Nakajima H, Kuwana M, Nishioka Y, Morinobu A, Kameda H, Kohsaka H

Rheumatology (Oxford). 2022 Nov; 61(11): 4445-4454

7. Social independence evaluation index for Japanese patients with childhood-onset chronic diseases

Inoue Y, Umabayashi H, Matsui T, Nishiyama S, Sakurai I, Maru M, Takeda T, Tanigawa K, Miyamae T

Frontiers in Pediatrics. 2022 Dec; 10: 923497

8. Factors associated with impaired physical function in elderly rheumatoid arthritis patients who had achieved low disease activity

Komiya Y, Sugihara T, Hirano F, Matsumoto T, Kamiya M, Sasaki H, Hosoya T, Kimura N, Ishizaki T, Mori M, Tohma S, Yasuda S, Matsui T

Modern rheumatology. 2022 Dec; :

9. Late-onset rheumatoid arthritis registry study, LORIS study: study protocol and design

Kojima M, Kawahito Y, Sugihara T, Kojima T, Harada R, Hirata S, Hashimoto M, Hidaka T, Ishikawa H, Ito H, Kishimoto M, Kaneko Y, Matsui K, Matsui T, Matsushita I, Morinobu A, Nishida K, Tanaka E, Abe A, Ishitoku M, Asai S, Kida T, Onishi A, Takanashi S, Harigai M

BMC Rheumatology. 2022 Dec; 6(1): 90

10. Association of a FAM13A variant with interstitial lung disease in Japanese rheumatoid arthritis.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tsunoda S, Ito S, Okamoto A, Katayama M, Saisho K, Shinohara S, Matsui T, Migita K, Nagaoka S, Tohma S

RMD Open. 2023 Jan; 9(1): e002828

11. New Aspects of Clinical and Immunological Characteristics in Patients with Anti-asparaginyl tRNA synthetase (anti-KS) Autoantibody

Hosono Y, Ishi A, Izumi Y, Sasaki N, Nogi S, Yamada C, Sato S

Modern Rheumatology. 2023 Jan; :

12. Antibodies against serum anti-melanoma differentiation-associated gene 5 in rheumatoid arthritis patients with chronic lung diseases.

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Okamoto A, Hashimoto A, Komiya A, Saisho K, Yoshikawa N, Katayama M, Matsui T, Fukui N, Migita K, Tohma S

Medicina (Kaunas, Lithuania). 2023 Feb; 59(2): 363

13. Comprehensive evaluation of the influence of sex differences on composite disease activity indices for rheumatoid arthritis: results from a nationwide observational cohort study.

Nishino T, Hashimoto A, Tohma S, Matsui T

BMC Rheumatology. 2023 Mar; 7(1): 4

■和文原著

1. 四肢体幹に多発する紫斑と高度蛋白尿を呈し、副腎皮質ステロイドによる積極的治療を要した IgA 血管炎

川邊 瑠璃子, 大森 一星, 橋本 優希, 三井 彩, 津野 宏隆, 荻原 秀樹, 大松 華子

皮膚科の臨床 2022. 5; 64(6): 1055-1059

■和文総説・著書

1. 関節リウマチの診断と治療

松井 利浩

アレルギー 2022. 5; 71(3): 159-167

2. 関節リウマチにおける最新情報 ～Difficult-to-Treat(D2T) RA について～

松井 利浩

アレルギーの臨床 2022. 6; 42(6): 419-422

3. シクロホスファミド

津野 宏隆, 松井 利浩

リウマチ科 2022. 7; 68(1): 23-30

4. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症はさまざまな病像を呈すると聞いたのですが, この病気を見逃さないためにどのような症候に気をつけたらよいでしょうか?

津野 宏隆

内科 2022. 9; 130(3): 570-573

5. 成人スチル病診療ガイドライン 2017 年版 [2023 年 Update]

松井 利浩 他

成人スチル病診療ガイドライン 2017 年版 [2023 年 Update] 2023. 1; :

6. 避けたほうがよい生活習慣はある? 運動やリハビリは必要?

松井 利浩

薬局 2023. 3; 74(3): 108-110

7. 食事で気をつけることはありますか?

松井 利浩

薬局 2023. 3; 74(3): 114-115

■国際発表

[学会_一般演題]

1. 〈Poster, POS0614〉 The relationship between Disease Activity and financial toxicity in patients with rheumatoid arthritis on biologics: A cross-sectional study using the Japanese rheumatoid arthritis registry.

Inoue R, Yajima N, Matsui T, Tohma S

EULAR 2022

2022 Jun, Copenhagen, Denmark

2. 〈Poster Session A〉 The association between the usage of biological disease modified anti rheumatic drug or JAK inhibitor and the burden of treatment costs on daily life (financial toxicity) in RA patients: A cross-sectional study using the national database of rheumatic diseases in Japan (NinJa).

Yajima N, Matsui T, Tohma S

ACR 2022

2022 Nov, Philadelphia, USA

3. 〈Poster Session D〉 Comparison of treatment and disease activity in the early stage of onset in patients with elderly-onset vs younger-onset rheumatoid arthritis using data of national database of rheumatic diseases in Japan (NinJa).

Matsui T, Tohma S

ACR 2022
2022 Nov, Philadelphia, USA

[学術講演・他]

1. 〈Publication Only, AB0200〉 Comparison of treatment and disease activity of between EORA and YORA patients in a nationwide database of rheumatoid arthritis in japan “NinJa”.

Matsui T, Tohma S

EULAR 2022
2022 Jun, Copenhagen, Denmark

2. 〈Publication Only, AB1140〉 Impact of COVID-19 news sources on rheumatoid arthritis patients’ lifestyle and their disease activity from NinJa 2020 cohort study.

Ihata A, Matsui T, Tohma S on behalf of NinJa registry

EULAR 2022
2022 Jun, Copenhagen, Denmark

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈S3-8〉 作業療法士の立場から支援

田口 真哉, 山崎 秀, 高梨 哲生, 松井 利浩, 佐浦 隆一

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

2. 〈S3-7〉 理学療法士の立場からの支援

島原 範芳, 佐藤 信治, 菱川 法和, 中村 めぐみ, 大西 亜子, 田中 由紀,
曾我部 愛由子, 澤田 直哉, 奥田 恭章, 大西 誠, 遠山 将吾, 松井 利浩, 佐浦 隆一

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

3. 〈S3-2〉 移行期における患者支援

森 雅亮, 宮前 多佳子, 松井 利浩

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

4. 〈S3-1〉 ライフステージに応じた関節リウマチ患者支援

松井 利浩

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

5. 〈S12-2〉 NinJa で見る RA 治療の現状と課題

松井 利浩

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

6. 〈2-8-S30-5〉 内科と整形外科の連携による高齢リウマチ患者のマネジメント

松井 利浩

第 95 回日本整形外科学会学術総会, 2022. 5, 神戸市

7. 〈シンポジウム3〉多職種によるライフステージに応じた RA 患者支援

松井 利浩

第 31 回日本リウマチ学会 近畿支部学術集会, 2022. 9, 神戸市

8. 〈シンポジウム3〉リハビリテーション専門職の視点から-2 作業療法士による `しあわせな人生を送るための支援、

田口 真哉, 山崎 秀, 高梨 哲生, 松井 利浩, 佐浦 隆一

第 31 回日本リウマチ学会 近畿支部学術集会, 2022. 9, 神戸市

9. 〈シンポジウム 27-2〉リウマチ膠原病領域における発症時期による病態や治療の異同について ~成人診療科の立場から~

松井 利浩

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

10. 〈SS1-1〉NinJa でみる高齢リウマチの診療実態と課題

松井 利浩

第 37 回日本臨床リウマチ学会, 2022. 10, 札幌市

[学会_一般演題]

1. 〈P55-6〉成人 Still 病に急性呼吸窮迫症候群を合併した 1 例

富永 晃都, 大久 俊輝, 鈴木 智博, 澤田 崇幸, 矢野 裕介, 児玉 華子, 野木 真一,
津野 宏隆, 荻原 秀樹, 小宮 明子, 松井 利浩

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

2. 〈P53-7〉NinJa における関節リウマチ患者に合併した帯状疱疹の経年的推移の検討

山中 隆夫, 松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

3. 〈P43-10〉MRSA 敗血症診断直後に抗 MDA-5 抗体陽性の急速進行性間質性肺炎合併 Amyopathic Dermatomyositis が発覚した一例

野木 真一, 鈴木 智博, 大久 俊輝, 矢野 裕介, 澤田 崇幸, 富永 晃都, 児玉 華子,
津野 宏隆, 荻原 秀樹, 松井 利浩

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

4. 〈P15-2〉NinJa における費用および効果の分析年次報告 2020 ~tsDMARDs 使用の増加, 費用減少, 費用対効果改善継続~

末永 康夫, 鳥越 雅隆, 木村 大作, 松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

5. 〈P14-3〉関節リウマチ関連間質性肺病変と抗シトルリン化ペプチド抗体, リウマトイド因子, 抗カルバミル化蛋白抗体

岡 笑美, 樋口 貴士, 古川 宏, 島田 浩太, 岡本 享, 橋本 篤, 小宮 明子, 税所 幸一郎,
吉川 教恵, 片山 雅夫, 松井 利浩, 福井 尚志, 右田 清志, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

6. 〈P10-1〉関節指数ベクトルを用いた関節リウマチ患者の予後予測精度向上の検討

西山 進, 沢田 哲治, 相田 哲史, 吉永 泰彦, 西野 仁樹, 松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

7. 〈P1-8〉股関節罹患を有する関節リウマチの臨床的特徴について-NinJa2020 データベースを用いた解析-

沢田 哲治, 西山 進, 松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

8. 〈P1-3〉RA 患者における抗リウマチ剤の医療費と治療費の日常生活への負担感（経済毒性）との関連の検討 NinJa コホート研究

矢嶋 宣幸, 松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

9. 〈P1-2〉関節リウマチにおける固形癌よりも悪性リンパ腫合併に関連する因子の検討

水島 万智子, 杉原 毅彦, 櫻井 恵一, 永渕 裕子, 森 雅亮, 松井 利浩, 川畑 仁人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

10. 〈W15-2〉NinJa でみる SDAI 寛解にある高齢発症関節リウマチ患者の特徴

松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

11. 〈W15-1〉NinJa2020 における RA 患者の慢性腎臓病の有病率

梶山 浩, 松井 利浩, 當間 重人, 三村 俊英

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

12. 〈P3-3〉RPA3-UMAD1 遺伝子の rs12702634 と関節リウマチ関連間質性肺病変

樋口 貴士, 岡 笑美, 古川 宏, 島田 浩太, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

13. 〈W43-1〉リウマチ手術の推移 : Ninja による解析

小山 卓摩, 松本 卓巳, 小俣 康德, 廣瀬 旬, 田中 栄, 松井 利浩

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

14. 〈W24-5〉ACPA 陽性 RA 患者はより早期に発症し, 疾患活動性が高い -NinJa 2020 より- 高樋 康一郎, 三山 彬, 新居 卓朗, 松井 利浩, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

15. 〈W23-4〉関節リウマチ治療における IL-6 受容体抗体製剤使用時の MTX 併用の意義

西川 卓治, 松井 利浩, 島根 謙一, 内田 嘉雄, 小田 彩, 杉森 祐介, 眞野 洋彰,

田中 栄, 西野 仁樹, 當間 重人

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

16. 〈W51-5〉変形軟骨におけるプラスミン活性化の機序の解明 -変形性膝関節症に置ける軟骨変性にはプラスミンが関与している-

津野 宏隆, 田中 信帆, 大橋 暁, 岩澤 三康, 古川 宏, 福井 尚志

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

17. 〈W77-2〉 NinJa2019 データベースにおける SDAI 寛解および低疾患活動性を達成した関節リウマチ患者における栄養状態の評価
辻 成佳, 野口 貴明, 橋本 淳, 大島 至郎, 松井 利浩, 當間 重人
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催
18. 〈W73-6〉 高度難治性の痛風性関節炎に対し, 外科的処置およびトシリズマブ (TCZ) 導入によりコントロールできた一例
児玉 華子, 大久 俊輝, 鈴木 智博, 澤田 崇幸, 矢野 裕介, 富永 晃都, 野木 真一, 津野 宏隆, 萩原 秀樹, 小宮 明子, 松井 利浩
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催
19. 〈W67-1〉 コロナ禍における関節リウマチ患者の生活の変化と情報源について Nin-Ja2020 を用いた解析
井畑 淳, 関口 章子, 松井 利浩, 當間 重人
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催
20. 〈O-61〉 高齢発症関節リウマチの治療戦略の確立 既存疫学データによる治療実態の把握
小嶋 雅代, 杉原 毅彦, 松井 利浩, 田中 榮一, 小嶋 俊久, 大西 輝, 伊藤 宣, 川人 豊, 針谷 正祥, AMED 高齢発症関節リウマチレジストリ研究班 1
第 64 回日本老年医学会学術集会, 2022. 6, 大阪市・Web 開催
21. 〈ポスター 18-134〉 関節リウマチと慢性経過・再燃を繰り返す間質性肺炎を合併する非典型的な経過を呈した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の一例
児玉 華子, 吉田 智哉, 鈴木 智博, 中島 暁, 大久 俊輝, 野木 真一, 津野 宏隆, 松井 利浩
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
22. 〈ポスター 60-448〉 早期トシリズマブ併用にて大血管狭窄, 壁肥厚の可逆的な改善・正常化を定量的に評価できた高安動脈炎の一例
野木 真一, 鈴木 智博, 大久 俊輝, 中島 暁, 吉田 智哉, 児玉 華子, 津野 宏隆, 川上 正裕, 小宮 明子, 大森 智子, 松井 利浩
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
23. 〈ポスター 60-449〉 腰部脊柱管狭窄症で手術目的に入院したが, 精査にてリウマチ性多発筋痛症と診断, 手術することなくステロイド加療で症状改善した一例
山崎 健, 野木 真一, 鈴木 智博, 中島 暁, 津野 宏隆, 児玉 華子, 大久 俊輝, 吉田 智哉, 萩原 秀樹, 平井 志馬, 松井 利浩
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
24. 〈ポスター 60-450〉 リツキシマブ併用により迅速なステロイド漸減ができた ANCA 関連血管炎の 2 症例
平野 勝
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

25. 〈ポスター 60-451〉リウマチ性多発筋痛症の UBA1 遺伝子解析
樋口 貴士, 野木 真一, 岡 笑美, 古川 宏, 島田 浩太, 橋本 篤, 小宮 明子, 松井 利浩,
東 孝典, 杉山 隆夫, 平野 史倫, 岡本 享, 寶來 吉朗, 片山 雅夫, 右田 清志, 當間 重人
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
26. 〈ポスター 60-444〉日本人 MCTD 患者では HLA-DRB1*04:01/*15 と *09:01/*15 が増加している
岡 笑美, 樋口 貴士, 古川 宏, 島田 浩太, 橋本 篤, 小宮 明子, 松井 利浩, 福井 尚志,
末松 栄一, 大野 滋, 河野 肇, 片山 雅夫, 長岡 章平, 右田 清志, 當間 重人
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
27. 〈口演 55-4〉NinJa でみる高齢発症関節リウマチ患者の発症早期における治療の現状と課題
松井 利浩, 當間 重人
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
28. 〈O34〉インフォデミックは関節リウマチ(RA) にどんな影響を及ぼしたか? コロナ禍での生活の変化と情報源について~NinJa2020 を用いた解析
井畑 淳, 関口 章子, 麴谷 典子, 水野 広輝, 北堀 弘大, 松井 利浩, 當間 重人
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
29. 〈1-6-24〉変形性膝関節症の軟骨変性部ではマトリクスの変化によりプラスミン活性が誘導されている
津野 宏隆, 田中 信帆, 内藤 昌志, 岩澤 三康, 福井 尚志
第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2022. 10, 宮崎市
30. 〈O21-2〉医療コストを考慮した関節リウマチ治療の検討
西山 進, 吉井 一郎, 大橋 敬司, 相田 哲史, 吉永 泰彦, 當間 重人, 松井 利浩
第 37 回日本臨床リウマチ学会, 2022. 10, 札幌市
31. 〈O22-7〉関節リウマチにおける大関節優位性と医師・患者評価の関係-その 2
西山 進, 大橋 敬司, 相田 哲史, 吉永 泰彦, 當間 重人, 松井 利浩
第 37 回日本臨床リウマチ学会, 2022. 10, 札幌市
32. 〈90〉不全型ベーチェット病と考えた 1 例
佐々木 聡, 中川 紅葉, 森 瞳子, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 荻原 秀樹,
堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子
第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2022. 11, 東京・Web 開催
33. 〈91〉活動性の関節炎部位を中心に皮疹を生じた限局性強皮症の 1 例
森 瞳子, 佐々木 聡, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 鈴木 智博, 堀田 綾子, 齋藤 生朗,
大松 華子
第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2022. 11, 東京・Web 開催

34. 〈O8-5〉蛋白尿, 補体低下を呈するも, 腎生検上, ループス腎炎が否定的だった全身性エリテマトーデス (SLE) の経験

鈴木 智博, 津野 宏隆, 吉田 智哉, 大久 俊輝, 中島 壘, 児玉 華子, 野木 真一, 堀田 綾子, 荻原 秀樹, 松井 利浩, 齋藤 生朗

第 32 回日本リウマチ学会 関東支部学術集会, 2022. 12, 東京

35. 〈一般演題 2-4〉変形性関節症では綿溶系の活性亢進により MMP-1 が活性化される

田中 信帆, 津野 宏隆, 内藤 昌志, 岩澤 三康, 福井 尚志

第 35 回日本軟骨代謝学会, 2023. 3, 横浜市

36. 〈一般演題 2-5〉変形性関節症における滑膜内の血管増生機序の検討

津野 宏隆, 田中 信帆, 内藤 昌志, 岩澤 三康, 福井 尚志

第 35 回日本軟骨代謝学会, 2023. 3, 横浜市

37. 〈O4-1〉関節リウマチ患者の年齢性別分布

古川 宏, 野木 真一, 岡 笑美, 樋口 貴士, 松井 利浩, 當間 重人

第 65 回九州リウマチ学会, 2023. 3, 福岡市

[学術講演・他]

1. 〈特別講演〉RA 診療における生物学的製剤の新たな環境 ~ガイドラインや医療費用から考えるこれからの薬物療法~

松井 利浩

RA Economic Seminar, 2022. 5, Web 開催

2. 〈講演Ⅱ〉関節リウマチの不眠症状

山中 隆夫

リウマチ診療 Web Seminar ~リウマチ×痛み×不眠~, 2022. 6, Web 開催

3. 〈基調講演〉当院におけるウパダシチニブの使用経験

児玉 華子

神奈川県央・県西地区 JAK Meeting -リンヴォック発売 2 周年記念-, 2022. 6, 海老名市

4. 〈Lecture〉最新の NinJa 情報から見る関節リウマチ治療の課題に関して

松井 利浩

Sarilumab And Rheumatology Internet SARI seminar the 6th, 2022. 6, Web 開催

5. 〈Panel discussion/ Presenter〉~現代の関節リウマチ治療の課題を考える~

松井 利浩 (Presenter)

Sarilumab And Rheumatology Internet SARI seminar the 6th, 2022. 6, Web 開催

6. 〈質疑応答 & Discussion/ パネリスト〉パターン認識を超えた RA の画像評価 (質疑応答 & Discussion)

津野 宏隆

Lilly RA Web Seminar, 2022. 6, Web 開催

7. 〈特別講演/ パネリスト〉 NinJa でみる JAK 阻害薬の使用実態と課題 ～バリシチニブの臨床試験と PMS のデータ比較も含めて～

松井 利浩

Olumiant Web Seminar, 2022. 7, Web 開催

8. 〈パネリスト〉 バリシチニブの当院の使用状況について

野木 真一

Olumiant Web Seminar, 2022. 7, Web 開催

9. 〈講演 1〉 ライフステージに応じた関節リウマチ診療を考える

松井 利浩

静岡県炎症研究会 2022, 2022. 7, Web 開催

10. ライフステージに応じた関節リウマチ治療とメディカルスタッフによる患者支援

松井 利浩

日本大学薬学生涯教育講座, 2022. 7, Web 開催

11. 薬剤師ができる患者支援 ～関節リウマチ患者への支援～

辻村 美保

日本大学薬学生涯教育講座, 2022. 7, Web 開催

12. 〈基調講演/ PROS & CONS〉 Radiographic progression of structural Joint damage over 5 years of baricitinib treatment in patients with rheumatoid arthritis: Results from RA-BEYOND

桐野 洋平 (PROS, 松井 利浩 (CONS

神奈川リウマチ性疾患 Evidence 検証研究会, 2022. 7, 横浜市

13. Persistent pruritic eruptions を呈した成人 Still 病の 1 例

森 瞳子, 川邊 瑠璃子, 佐々木 聡, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 児玉 華子,
堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子

日本皮膚科学会第 902 回東京地方会, 2022. 7, Web 開催

14. 〈講演 1〉 NinJa でみる RA 診療の現状と様々なライフステージにおける課題

松井 利浩

RA Web Seminar ～RA 診療これまでとこれから～, 2022. 7, Web 開催

15. 〈基調講演〉 蛋白尿, 補体低下を呈するも, 腎生検ではループス腎炎を示唆する明らかな増殖性変化は認めなかった SLE の経験

鈴木 智博

第 30 回相模原リウマチ研究会, 2022. 7, Web 開催

16. 〈演題 2〉 ライフステージに応じた関節リウマチ患者支援におけるメディカルスタッフの役割

松井 利浩

リウマチ WEB セミナー, 2022. 7, Web 開催

17. 〈特別講演 2〉 JAK 阻害薬への期待と不安 ～“自然選択”はおこるのか？～
松井 利浩
JAK 阻害薬を考える会 in 千葉 iR-net, 2022. 8, Web 開催
18. 〈講演 1〉 リウマチ性疾患における移行期医療の現状と患者支援のポイント
松井 利浩
ORENCIA SUMMIT 2022, 2022. 9, 福岡市
19. 自己免疫疾患における移行期医療の現状と課題
松井 利浩
第 10 回自己免疫と IL-6 研究会, 2022. 10, 東京・Web 開催
20. 〈特別講演〉 高齢 RA 患者の薬物治療戦略について
松井 利浩
Olumiant Web Seminar, 2022. 11, Web 開催
21. 〈ディスカッション/パネリスト〉 高齢 RA 患者の薬物治療戦略について (ディスカッション)
児玉 華子
Olumiant Web Seminar, 2022. 11, Web 開催
22. 〈Session1 演者 I〉 蛋白尿, 補体低下を呈するも, 腎生検上, ループス腎炎が否定的だった全身性エリテマトーデス (SLE) の経験
鈴木 智博
第 14 回川崎 RA Biologics Conference, 2022. 11, Web 開催
23. NinJa でみる関節リウマチ薬物療法の変遷と現状 ～JAK 阻害薬への期待と今後の課題～
松井 利浩
Lilly RA Web Seminar, 2022. 11, Web 開催
24. 〈第 1 部〉 ライフステージに応じた関節リウマチ治療とメディカルスタッフによる患者支援
松井 利浩
ファーマシーセミナー アドバンス オンライン研修, 2022. 11, Web 開催
25. 〈市民公開講座〉 あなたの大切な「今」と「将来」のために
松井 利浩, 倉澤 健太郎, 金子 佳代子
関節リウマチ Web 市民公開講座, 2022. 11, Web 開催
26. 〈特別講演〉 大規模関節リウマチデータベース “NinJa” でみる関節リウマチ診療の実態と課題
松井 利浩
第 5 回 New Great Seminar ～New Generation Rheumatologist Educational Seminar～, 2022. 12, 京都市
27. 〈Lecture2〉 ライフステージに応じた関節リウマチ診療とチーム医療を考える
松井 利浩
RA Seminar ～チーム医療を考える～, 2022. 12, 熊本市・Web 開催

28. 〈Panel discussion/ Commentator〉 ～抗 IL-6 製剤の好適患者像について考える～
緋田 めぐみ, 岳野 光洋, 廣瀬 直人, 井畑 淳, 松井 利浩, 田口 博章, 高桑 由希子
Sarilumab And Rheumatology Internet SARI seminar the 7th, 2022. 12, Web 開催
29. 〈講演〉 NinJa データから考える高齢 RA 治療の課題と戦略
松井 利浩
ケブザラ Web 講演会, 2023. 1, Web 開催
30. 〈講演②〉 JIA 患者の移行期医療と移行支援に関する実態と課題
松井 利浩
Web Seminar on Rheumatology ～小児の膠原病疾患・移行医療について～, 2023. 2, Web 開催
31. 〈講演 1〉 NinJa でみる本邦関節リウマチ治療におけるメトトレキサートの使用実態
松井 利浩
メトジェクト新発売記念講演会 in 新宿, 2023. 2, 相模原市・Web 開催
32. 〈セッション〉 NinJa でみる生物学的製剤使用の現状
松井 利浩
Sarilumab Area and Tokai Online Seminar, 2023. 2, 相模原市・Web 開催
33. 〈ディスカッション/ コメンテーター〉 【テーマ】 RA を加療中に COVID-19 に罹患後腎
限局 ANCA 関連血管炎を発症した治療経験
野木 真一, 中島 壘
Nephrorheumatology Forum, 2023. 2, 東京
34. 〈特別講演〉 ライフステージに応じた関節リウマチ患者支援
松井 利浩
2023 Medical Staff Web Symposium, 2023. 3, Web 開催
35. 〈ディスカッション〉 2023 Medical Staff Web Symposium (ディスカッション)
松井 利浩, 吉川 朋, 芦澤 麻土香
2023 Medical Staff Web Symposium, 2023. 3, Web 開催
36. 〈講演 I〉 NinJa でみる関節リウマチ薬物治療の実態と課題
松井 利浩
神奈川県西部リウマチセミナー, 2023. 3, 厚木市・Web 開催
37. 〈パネリスト〉 Olumiant Web Seminar
津野 宏隆
Olumiant Web Seminar, 2023. 3, Web 開催

2) 外科系リウマチ分野

■英文原著・短報

1. Lumbar Fusion including Sacroiliac Joint Fixation Increases the Stress and Angular Motion at the Hip Joint: A Finite Element Study

Kozaki T, Hashizume H, Oka H, Ohashi S, Kumano Y, Yamamoto E, Minamide A, Yukawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakata K, Taniguchi T, Fukui D, Nishiyama D, Yamanaka M, Tamai H, Taiji R, Murata S, Murata A, Yamada H

Spine Surgery and Related Research. 2022 Apr; 6(6): 681-688

2. Postoperative outcomes after degenerative lumbar spine surgery in rheumatoid arthritis patients –a propensity score–matched analysis

Kato S, Nakamoto H, Matsubayashi Y, Taniguchi Y, Doi T, Yoshida Y, Higashikawa A, Takeshita Y, Fukushima M, Ono T, Hara N, Okazaki R, Iwai H, Oshina M, Sugita S, Hirai S, Masuda K, Tanaka S, Oshima Y; University of Tokyo Spine Group

BMC Musculoskeletal Disorders. 2022 Apr; 23(1): 380

3. Characteristics of gene expression in frozen shoulder

Nishimoto H, Fukuta S, Fukui N, Sairyō K, Yamaguchi T

BMC Musculoskeletal Disorders . 2022 Aug; 23(1): 811

4. Accumulation of polyunsaturated fatty acid–derived metabolites in the sarcopenic muscle of aging mice

Kadoguchi T, Shimada K, Fukui N, Tanaka N, Tsuno H, Shiozawa T, Fukao K, Nishitani–Yokoyama M, Isoda K, Matsushita S, Yokoyama N, Daida H

Geriatrics and Gerontology International. 2023 Feb; 23(4): 297–303

5. Erratum for Lumbar Fusion including Sacroiliac Joint Fixation Increases the Stress and Angular Motion at the Hip Joint: A Finite Element Study

Kozaki T, Hashizume H, Oka H, Ohashi S, Kumano Y, Yamamoto E, Minamide A, Yukawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakata K, Taniguchi T, Fukui D, Nishiyama D, Yamanaka M, Tamai H, Taiji R, Murata S, Murata A, Yamada H.

Spine Surgery and Related Research. 2023 Mar; 7(2): 199

■和文原著

1. Terrible Triad Injury に対し非連結型人工肘関節置換術を行った 1 例

荒井 翔, 岩澤 三康

日本職業・災害医学会会誌 2022. 7; 70(4): 160-164

■和文総説・著書

1. 人工肘関節再置換術 非連結型機種からの再置換術における機種選択と手術手技を中心に 岩澤 三康, 田平 敬彦

Orthopaedics 2023. 2; 36(2): 27-35

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈P64-4〉人工股関節全置換術後の反復性前方脱臼に対して Cup-in-Cup テクニックで再置換術を行った 2 例

戸田 義夫, 内藤 昌志, 大橋 暁, 岩澤 三康

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

2. 〈MTE14〉人工肘関節置換術の生涯戦略をみすえた使い分け

岩澤 三康, 内藤 昌志, 大橋 暁, 安井 哲郎, 田中 栄

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

3. 〈W51-5〉変形軟骨におけるプラスミン活性化の機序の解明-変形性膝関節症における軟骨変性にはプラスミンが関与している

津野 宏隆, 田中 信帆, 大橋 暁, 岩澤 三康, 古川 宏, 福井 尚志

第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

4. 〈O26-1〉変形性関節症において変性軟骨より荷重によって遊離する因子の解析

福井 尚志, 田中 信帆, 大橋 暁, 田代 俊之, 桂川 陽三

JOSKAS-JOSSM 2022, 2022. 6, 札幌市

5. 〈O26-3〉変形性関節症における滑膜性のフレアに着目した関節液の解析

田中 信帆, 大橋 暁, 田代 俊之, 桂川 陽三, 福井 尚志

JOSKAS-JOSSM 2022, 2022. 6, 札幌市

6. 〈ポスター 60-449〉腰部脊柱管狭窄症で手術目的に入院したが, 精査にてリウマチ性多発筋痛症と診断, 手術することなくステロイド加療で症状改善した一例

山崎 健, 野木 真一, 鈴木 智博, 中島 壘, 津野 宏隆, 児玉 華子, 大久 俊輝,
吉田 智哉, 萩原 秀樹, 平井 志馬, 松井 利浩

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

7. 〈ポスター 60-444〉日本人 MCTD 患者では HLA-DRB1*04:01/*15 と *09:01/*15 が増加している

岡 笑美, 樋口 貴士, 古川 宏, 島田 浩太, 橋本 篤, 小宮 明子, 松井 利浩, 福井 尚志,
末松 栄一, 大野 滋, 河野 肇, 片山 雅夫, 長岡 章平, 右田 清志, 當間 重人

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

8. 〈一般演題 2-4〉変形性関節症では線溶系の活性亢進により MMP-1 が活性化される

田中 信帆, 津野 宏隆, 内藤 昌志, 岩澤 三康, 福井 尚志

第 35 回日本軟骨代謝学会, 2023. 3, 横浜市

9. 〈一般演題 2-5〉変形性関節症における滑膜内の血管増生機序の検討

津野 宏隆, 田中 信帆, 内藤 昌志, 岩澤 三康, 福井 尚志

第 35 回日本軟骨代謝学会, 2023. 3, 横浜市

[学術講演・他]

1. 脊椎手術の低侵襲化と骨粗鬆症の脊椎手術について

平井 志馬

Asahi Spine Web Seminar, 2022. 5, Web 開催

2. 外来診療と脊椎低侵襲手術による神経障害性疼痛の治療

平井 志馬

Pain Management Forum, 2022. 5, Web 開催

3. 〈教育講演〉身体への侵襲の少ない新しい脊椎手術～当院の脊椎内視鏡手術の現状～

平井 志馬

第2回国立相模原病院・相模原市医師会 医療連携講演会, 2022. 6, Web 開催

4. 〈講演Ⅰ〉骨粗鬆症性脊椎疾患に対する低侵襲手術

平井 志馬

疼痛治療 Web Seminar, 2022. 9, Web 開催

5. 最近の人工肘関節の適応

田平 敬彦

整形疾患連携 Seminar, 2022. 9, Web 開催

6. 外来治療困難例に対する低侵襲脊椎手術～従来の脊椎手術との比較～

平井 志馬

Asahi Spine Web Seminar, 2022. 10, Web 開催

7. OVF 治療戦略を語ろう in Osaka

平井 志馬

HOYA OVF 治療戦略を語ろう, 2022. 11, 大阪市

8. 最近の人工肘関節

田平 敬彦

第13回東京手の外科手術手技研究会, 2022. 11, 東京

9. 〈特別講演〉固定をしない脊椎手術の限界と可能性～神経障害性疼痛に対する脊椎内視鏡手術～

平井 志馬

Pain Live Symposium, 2022. 12, Web 開催

10. 〈特別講演Ⅱ〉固定をしない脊椎手術の限界と可能性～神経障害性疼痛に対する脊椎内視鏡手術～

平井 志馬

地域連携 WEB SEMINAR in Sagami-hara, 2023. 1, Web 開催

先端技術開発研究分野

1) 分子生物学研究分野

■英文原著・短報

1. Th17-Dependent Nasal Hyperresponsiveness Is Mitigated by Steroid Treatment.

Ueda S, Miura K, Kawasaki H, Ogata S, Yamasaki N, Miura S, Mori A, and Kaminuma O
Biomolecules. 2022 May; 12(5): 674

2. Re-evaluation of over-the-counter histamine H1-receptor antagonists based on their effects on murine models of allergen-induced nasal hyperresponsiveness

Uda N, Ogata S, Yamasaki N, Miura S, Hosomi N, Mori A, Gotoh M, Miura K, Kaminuma O

Journal of Pharmacological Sciences. 2022 Oct; 150(4): 275-278

■和文総説・著書

1. 重症喘息のステロイド抵抗性とその制御

森 晶夫, 神山 智, 大友 暁美, 山口 美也子, 組谷 千恵美, 岩本 圭右, 矢野 光一,
藤田 教寛, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 劉 楷, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎,
上出 庸介, 福富 友馬, 関谷 潔史, 松本 幸一郎, 谷口 安, 小林 信之, 大友 隆之,
神沼 修

日本薬理学雑誌 2022. 9; 157(5): 293-298

■国際発表

[学会_一般演題]

1. T cell-dependent steroid-resistant asthma is mediated by tyrosine kinases of costimulatory signal

Mori A, Kouyama S, Ohtomo-Abe A, Iwamoto K, Yano K, Fujita N, Iwata M,
Nagayama K, Nakamura Y, Hamada Y, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Fukutomi Y,
Ohtomo T, Kaminuma O

European Academy of Allergy and Clinical Immunology Hybrid Congress 2022
2022 Jul, Prague・Web 開催

2. Control of T cell-dependent steroid-resistant asthma model by several kinase inhibitors

Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Ohtomo-Abe A, Iwamoto K, Yano K, Fujita N,
Iwata M, Nagayama K, Ryu K, Nakamura Y, Hamada Y, Watai K, Kamide Y,
Sekiya K, Fukutomi Y, Ohtomo T, Kaminuma O

European Respiratory Society International Congress 2022
2022 Sep, Barcelona・Web 開催

3. 〈A001-4〉 Pharmacological characterization of T cell-dependent steroid-resistant asthma model using several kinase inhibitors

Mori A, Kouyama S, Ohtomo-Abe A, Kawasaki Y, Iwata M, Nakamura Y, Hamada Y,
Kamide Y, Sekiya K, Fukutomi Y, Ohtomo T, Kaminuma O

The 26th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology (APSR) 2022

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈MS19-6〉 アレルゲン特異的 IgE 測定用 3 次元マイクロアレイの開発続報 (第 3 報—1) : 微量検体を用いた同時多項目測定
白鳥 宏太, 中川 舞, 川上 和美, 伊藤 正照, 森 晶夫
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
2. 〈MS29-6〉 Th17 細胞依存的ステロイド抵抗性喘息モデルに対するアミノ酸トランスポーター LAT1 阻害薬の効果
林 啓太郎, 佐伯 真弓, 三浦 健人, 山崎 憲政, 尾形 佐和子, 森 晶夫, 遠藤 仁, 神沼 修
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
3. 〈P27-2〉 アレルゲン特異的 IgE 測定用 3 次元マイクロアレイの開発続報 (第 3 報—2) : ダニアレルゲンコンポーネント測定
中川 舞, 白鳥 宏太, 川上 和美, 伊藤 正照, 森 晶夫
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
4. 〈P27-3〉 マウス抗原誘発鼻粘膜過敏性亢進モデルに対する第 2 世代抗ヒスタミン薬の効果
尾形 佐和子, 宇田 直人, 山崎 憲政, 三浦 健人, 森 晶夫, 後藤 穰, 神沼 修
第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10, 東京
5. 〈1-3〉 マウスアレルギー性鼻炎モデルに対する $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体アゴニストの効果
三浦 健人, 松浦 安那, 山下 修平, 山崎 憲政, 宇田 直人, 尾形 佐和子, 森 晶夫, 神沼 修
アレルギー・好酸球研究会 2022, 2022. 11, Web 開催
6. 微量検体から多項目のアレルゲン特異的 IgE を測定する 3 次元マイクロアレイの開発続報 (第 2 報) : 干渉試験の評価と指頭血採血による測定
中川 舞, 白鳥 宏太, 川上 和美, 伊藤 正照, 森 晶夫
第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2022. 11, 宜野湾市・Web 開催

2) 臨床免疫学研究分野

■英文原著・短報

1. **Characterization of Metal-Specific T-Cells in Inflamed Oral Mucosa in a Novel Murine Model of Chromium-Induced Allergic Contact Dermatitis**
Yoshizawa T, Kumagai K, Matsubara R, Nasu K, Kitaura K, Suzuki M, Hamada Y, Suzuki R
International Journal of Molecular Sciences. 2023 Feb; 24(3): 2807

2. Type IVb Hypersensitivity Reaction in the Novel Murine Model of Palladium-Induced Intraoral Allergic Contact Mucositis

Nasu K, Kumagai K, Yoshizawa T, Kitaura K, Matsubara R, Suzuki M, Suzuki R,
Hamada Y

International Journal of Molecular Sciences. 2023 Feb; 24(4): 3137

3. Cross-Reactivity of Intraoral Allergic Contact Mucositis in the Nickel-Sensitized Ear Model of Metal Allergy

Matsubara R, Kumagai K, Nasu K, Yoshizawa T, Kitaura K, Suzuki M, Hamada Y,
Suzuki R

International Journal of Molecular Sciences. 2023 Feb; 24(4): 3965

その他の臨床研究分野

1) 鼻アレルギー研究分野

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈O-61〉アレルギー性真菌性副鼻腔炎 (AFRS) にアレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) を併発していた 1 例

宮島 玲子, 鈴木 立俊, 清野 由輩, 藤川 直也, 山下 拓

第 61 回日本鼻科学会, 2022. 10, 金沢市

2. 〈12〉線維索性唾液管炎の 1 例

宮島 玲子, 萩原 康平, 鈴木 立俊

第 201 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会神奈川県地方部会学術講演会, 2022. 12, Web 開催

2) 神経難病研究分野

■英文原著・短報

1. Mutation screening of the DNAJC7 gene in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis

Tohnai G, Nakamura R, Atsuta N, Nakatochi M, Hayashi N, Ito D, Watanabe H, Watanabe H, Katsuno M, Izumi Y, Taniguchi A, Kanai K, Morita M, Kano O, Kuwabara S, Oda M, Abe K, Aoki M, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Ishihara T, Kawata A, Yokota T, Hasegawa K, Nagano I, Yabe I, Tanaka F, Kuru S, Hattori N, Nakashima K, Kaji R, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis Research (JaCALs)

Neurobiology of Aging. 2022 May; 113: 131-136

2. Age-dependent formation of TMEM106B amyloid filaments in human brains

Schweighauser M, Arseni D, Bacioglu M, Huang M, Lövestam S, Shi Y, Yang Y, Zhang W, Kotecha A, Garringer HJ, Vidal R, Hallinan GI, Newell KL, Tarutani A, Murayama S, Miyazaki M, Saito Y, Yoshida M, Hasegawa K, Lashley T, Revesz T, Kovacs GG, van Swieten J, Takao M, Hasegawa M, Ghetti B, Spillantini MG, Ryskeldi-Falcon B, Murzin AG, Goedert M, Scheres SHW

Nature. 2022 May; 605(7909): 310-314

3. Structures of α -synuclein filaments from human brains with Lewy pathology

Yang Y, Shi Y, Schweighauser M, Zhang X, Kotecha A, Murzin AG, Garringer HJ, Cullinane PW, Saito Y, Foroud T, Warner TT, Hasegawa K, Vidal R, Murayama S, Revesz T, Ghetti B, Hasegawa M, Lashley T, Scheres SHW, Goedert M

Nature. 2022 Oct; 610(7933): 791-795

4. Neuropathology of spinocerebellar ataxia type 8: Common features and unique tauopathy

Yonenobu Y, Beck G, Kido K, Maeda N, Yamashita R, Inoue K, Saito Y, Hasegawa M, Ito H, Hasegawa K, Morii E, Iwaki T, Murayama S, Mochizuki H

■英文総説・著書

1. Ultrastructural and biochemical classification of pathogenic tau, α -synuclein and TDP-43

Tarutani A, Adachi T, Akatsu H, Hashizume Y, Hasegawa K, Saito Y, Robinson AC, Mann DMA, Yoshida M, Murayama S, Hasegawa M

Acta Neuropathologica 2022. 6; 143(6): 613-640

■和文原著

1. パーキンソニズムを有するレビー小体型認知症患者を対象としたゾニサミド 25mg/日を長期投与時の有効性と安全性-第三相試験のポストホック解析-

小田原 俊成, 田川 正秋, 河内 健治, 長谷川 一子

Dementia Japan 2022. 9; 36(3): 1-13

■和文総説・著書

1. パーキンソン病の類縁疾患

長谷川 一子

高次脳機能障害のリハビリテーション 2022. 4; Ver3: 138-150

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈講演〉漿膜炎を契機に診断し得た高齢発症全身エリテマトーデス：SLE1 例

宮城 雄一, 飯塚 雅貴, 宮下 真信, 富樫 尚彦, 川浪 文, 長谷川 一子

日本内科学会第 677 回関東地方会, 2022. 5, 東京・Web 開催

2. 自律神経障害と小脳性運動失調で発症し多系統萎縮症と鑑別を要した RFC1 遺伝子関連スペクトラム障害の 51 歳男性

近藤 裕子, 川浪 文, 宮下 真信, 富樫 尚彦, 中村 聖悟, 安藤 匡宏, 高嶋 博, 長谷川 一子

第 244 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2023. 3, 東京

[学会_一般演題]

1. 〈ポスター〉前頭側頭型認知症 (FTD) の臨床病理学的検討

川浪 文, 富樫 尚彦, 宮下 真信, 飯塚 雅貴, 公文 彩, 佐川 美土里, 梁 正淵, 柳下 三郎, 長谷川 一子

第 63 回日本神経学会学術大会, 2022. 5, 東京

2. 〈ポスター〉当院当科に入院した症例でのアプノモニターの解析

飯塚 雅貴, 宮城 雄一, 宮下 真信, 富樫 尚彦, 川浪 文, 長谷川 一子

第 63 回日本神経学会学術大会, 2022. 5, 東京

3. 〈ポスター〉コロナ禍におけるパーキンソン病患者の他者との関わり量と QOL についての調査

公文 彩, 佐川 美土里, 猿渡 めぐみ, 川嶋 乃里子, 長谷川 一子

第 63 回日本神経学会学術大会, 2022. 5, 東京

4. 〈口演〉 **Adaptation of eye movement in hereditary spinocerebellar atrophy**
寺田 さとみ, 富樫 尚彦, 花島 律子, 長谷川 一子, 濱田 雅, 宇川 義一, 寺尾 安生
 第 63 回日本神経学会学術大会, 2022. 5, 東京
5. 〈セッション〉 **パーキンソン病患者における COVID-19 流行前後の言語流暢性課題と認知機能の変化**
佐川 美土里, 公文 彩, 猿渡 めぐみ, 長谷川 一子
 第 63 回日本神経学会学術大会, 2022. 5, 東京
6. 〈口演〉 **Bassonn proteinopathy (4 症例) の臨床像と病理所見 (1 剖検例) について**
富樫 尚彦, 宮城 雄一, 飯塚 雅貴, 宮下 真信, 川浪 文, 柳下 三郎, 池内 健,
長谷川 成人, 村山 繁雄, 長谷川 一子
 第 63 回日本神経学会学術大会, 2022. 5, 東京
7. 〈口演〉 **Bassonn proteinopathy の臨床像 (4 症例) と病理所見 (1 剖検例) について**
富樫 尚彦, 宮城 雄一, 宮下 真信, 川浪 文, 柳下 三郎, 池内 健, 長谷川 成人,
村山 繁雄, 長谷川 一子
 第 63 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2022. 6, 京都市
8. 〈ポスター〉 **人工呼吸器使用下に長期生存を得た孤発性 CJD, 65 歳女性の剖検例**
川浪 文, 荒川 晶, 松原 知康, 宮下 真信, 宮城 雄一, 柳下 三郎, 齊藤 祐子,
長谷川 一子, 村山 繁雄
 第 63 回日本神経病理学会総会学術研究会, 2022. 6, 京都市
9. 〈口演〉 **リエゾンをもちいた退院支援**
高橋 八重子
 第 12 回国立病院機構関東信越グループ神経・筋疾患ネットワーク研究会, 2022. 7, Web 開催
10. 〈口演〉 **リエゾンをもちいた退院支援～病棟看護師の役割と課題～**
高橋 八重子
 第 10 回日本難病医療ネットワーク学会学術集会, 2022. 11, 東京
- [学術講演・他]
1. 〈特別講演〉 **パーキンソン病を巡る最近の話題**
長谷川 一子
 姫路神経カンファレンス, 2022. 4, 姫路市
2. 〈特別講演〉 **パーキンソニズムを来す疾患-進行性核上性麻痺を中心に**
長谷川 一子
 神経疾患を考える会 in 山形, 2022. 4, Web 開催
3. 〈一般講演〉 **パーキンソン病とハンチントン病における皮質興奮性の検討**
富樫 尚彦
 Kanagawa Neuro Network From 県央県西, 2022. 6, Web 開催
4. 〈特別講演〉 **パーキンソン病に関するアップデート**
長谷川 一子

5. 〈Web セミナー〉 頭頂葉障害性失調症状と考えられる症例-文献的考案を加えて-

館野 琴菜

Young Neurologist WEB セミナー, 2022. 9, Web 開催

6. 〈シンポジウム〉 パーキンソン病患者の集団音楽療法; オンラインで拓けた音楽表現・ひととのつながり

越前 由佳

第5回パーキンソン病治療シンポジウム, 2022. 9, 東京

7. 〈カンファレンス〉 当院における終夜脳波の解析

宮下 真信

Movement Disorders Conference, 2022. 9, Web 開催

8. 〈学術集会〉 ハンチントン病治療のアップデート

長谷川 一子

第27回神奈川脳神経科医会学術集会, 2022. 9, Web 開催

9. 〈セミナー〉 患者中心のトータルサポート医療を目指して心理士の観点から

公文 彩

Neurology Web Seminar, 2022. 10, Web 開催

10. 〈講演〉 音楽療法～心とからだの解放感～

久保田 牧子

パーキンソン病市民公開講座, 2022. 10, 町田市

11. 〈講演〉 当院のパーキンソン病治療について

富樫 尚彦

Neurology Seminar2022, 2022. 11, Web 開催

12. 〈講演〉 神経難病と関わって

長谷川 一子

2022年度東京都健康長寿医療センターブレインバンク公開講座, 2022. 11, Web 開催

13. 〈講演〉 神経難病と関わって～パーキンソン病を中心に～

長谷川 一子

高齢者ブレインバンク, 2022. 11, Web 開催

14. 〈講演会〉 パーキンソン病治療を支える嚥下リハビリと内服支援

池山 順子

パーキンソン病多職種連携 Web 講演会, 2022. 12, Web 開催

15. 〈カンファレンス〉 パーキンソン病患者の認知機能とアプノモニター解析

富樫 尚彦

Movement Disorders Conference, 2022. 12, Web 開催

16. 〈講演〉困難はあるけれど病気と共に生きるために神経難病患者さんやご家族が病気と共に過ごすためのヒント！

長谷川 一子

難病講演会及び医療相談会, 2022. 12, 相模原市

17. 〈講演〉神経難病の基礎知識 難病各疾患及び難病に関する保健の理解

川浪 文

難病患者等ホームヘルパー養成研修, 2022. 12, 相模原市

18. 〈講演〉難病患者の心理と家族の理解

公文 彩

難病患者等ホームヘルパー養成研修, 2022. 12, 相模原市

19. 〈特別講演〉ハンチントン病～基本から最近の話題～

長谷川 一子

第 27 回 Neurology Grand Round WEB, 2023. 3, 徳島市・Web 開催

20. 〈講演②〉パーキンソン患者さんへの心理士としてのかかわり

公文 彩

第 8 回パーキンソン病 多職種連携 勉強会 ～臨床心理士の役割～, 2023. 3, 東京

21. 〈ディスカッション〉多職種連携による心理的ケアの実践と課題

関 守信, 田村 結唯, 公文 彩, 井上 琴恵

第 8 回パーキンソン病 多職種連携 勉強会 ～臨床心理士の役割～, 2023. 3, 東京

22. 〈講演 I〉行動障害型前頭側頭型認知症の剖検例

川浪 文

Movement Disorders Conference, 2023. 3, Web 開催

3) 皮膚アレルギー研究分野

■和文原著

1. 味覚異常がみられたが, **Laugier-Hunziker-Baran 症候群**と考えた 1 例

川邊 瑠璃子, 大森 一星, 橋本 優希, 三井 彩, 大松 華子

皮膚科の臨床 2022. 5; 64(6): 1111-1115

2. 四肢体幹に多発する紫斑と高度蛋白尿を呈し, 副腎皮質ステロイドによる積極的治療を要した IgA 血管炎

川邊 瑠璃子, 大森 一星, 橋本 優希, 三井 彩, 津野 宏隆, 荻原 秀樹, 大松 華子

皮膚科の臨床 2022. 5; 64(6): 1055-1059

■和文総説・著書

1. 皮膚科専門医講座 皮膚科専門医のための模擬テスト 15

大松 華子

DERMATOLOGY 皮膚科 2023. 3; 3(3): 379-380

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈P17-16〉ジアフェニルスルホンの投与が有用であった後天性表皮水疱症の1例
森 瞳子, 三井 彩, 中川 紅葉, 矢野 優美子, 古賀 浩嗣, 石井 文人, 大松 華子
第121回日本皮膚科学会総会, 2022. 6, 京都市・Web 開催
 2. 〈51〉凍瘡状ループスと考えた1例
佐々木 聡, 森 瞳子, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 大松 華子
第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2022. 10, 富山市・Web 開催
 3. 〈90〉不全型ベーチェット病と考えた1例
佐々木 聡, 中川 紅葉, 森 瞳子, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 荻原 秀樹,
堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子
第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2022. 11, 東京・Web 開催
 4. 〈91〉活動性の関節炎部位を中心に皮疹を生じた限局性強皮症の1例
森 瞳子, 佐々木 聡, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 鈴木 智博, 堀田 綾子, 齋藤 生朗,
大松 華子
第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2022. 11, 東京・Web 開催
 5. 〈MS3-1〉 Current topics in the pathogenesis of atopic dermatitis
Ohmatsu H
日本研究皮膚科学会(47), 2022. 12, 長崎市・Web 開催
- [学術講演・他]
1. 〈特別講演〉アトピー性皮膚炎の病態と治療法について
大松 華子
第182回 地域薬剤師セミナー, 2022. 5, Web 開催
 2. アトピー性皮膚炎の新しい治療法～2021年版診療ガイドラインを踏まえて～
大松 華子
Lilly AD Online Seminar, 2022. 5, Web 開催
 3. Persistent pruritic eruptions を呈した成人 Still 病の1例
森 瞳子, 川邊 瑠璃子, 佐々木 聡, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 児玉 華子,
堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子
日本皮膚科学会第902回東京地方会, 2022. 7, Web 開催
 4. 〈第1部講演〉アトピー性皮膚炎の病態と最新の治療法について
大松 華子
アトピー性皮膚炎 Advanced Therapy 講演会～JAK 阻害薬の施設間連携における適正使用の推進～,
2022. 8, Web 開催
 5. 〈特別講演〉アトピー性皮膚炎の病態と最新の治療法について～経口 JAK 阻害薬のポジ
ショニング～
大松 華子
Lilly AD Web Seminar in Yamato, 2022. 10, Web 開催

6. 〈パネルディスカッション〉今求められている乾癬治療とは

福地 修, 山口 道也, 大松 華子, 片山 宏賢

県央 Psoriasis Seminar, 2022. 10, Web 開催

7. 〈一般講演〉アトピー性皮膚炎治療の現状と問題点

大松 華子

Lilly AD Web Conference, 2022. 11, Web 開催

8. 進歩する AD の全身療法と共に外用療法を考える

大松 華子

RINVOQ AD 1st Anniversary Internet Live Seminar in Kanagawa, 2022. 12, Web 開催

9. Opening Remarks

大松 華子

第 20 回神奈川乾癬治療研究会, 2023. 3, 横浜市

Ⅲ . 【相模原病院診療部令和 4 年度業績報告】

外科・消化器外科・乳腺外科

■和文原著

1. 脳室腹腔シャント留置患者の膿瘍形成性虫垂炎に対し，経皮的ドレナージ治療を選択した1例

上松 由昌，旗手 和彦，桑野 紘治，大越 悠史，坂本 友見子，金澤 秀紀

日本腹部救急医学会雑誌 2023. 1; 43(1): 93-96

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈AW1-4〉腹腔鏡下胃切除術への普遍的な Reduced port surgery を目指して

堀口 寿里安，森谷 宏光，金田 崇良，上松 由昌，桑野 紘治，大越 悠史，横田 和子，細谷 智，坂本 友見子，旗手 和彦，金澤 秀紀，森 隆弘，金田 悟郎

第 47 回日本外科系連合学会学術集会, 2022. 6, 盛岡市

2. 〈AW1-6〉残胃癌に腹腔鏡手術は有効な選択肢たりえるか

金田 崇良，森谷 宏光，堀口 寿里安，上松 由昌，桑野 紘治，大越 悠史，横田 和子，細谷 智，坂本 友見子，旗手 和彦，金澤 秀紀，森 隆弘，金田 悟郎

第 47 回日本外科系連合学会学術集会, 2022. 6, 盛岡市

3. 〈P2-21〉閉塞性大腸癌における大腸ステント留置後 BTS の治療成績の検討

桑野 紘治，旗手 和彦，下形 将央，鶴丸 裕司，大友 直樹，大越 悠史，金澤 秀紀

第 97 回大腸癌研究会学術集会, 2022. 7, 東京

4. 〈P49-04〉傍食道気管支嚢胞の 2 例の臨床経験

鶴丸 裕司

第 76 回日本食道学会学術集会, 2022. 9, 東京

5. 〈WS3-06〉難治性咽喉頭逆流症に対して腹腔鏡下逆流防止術は有効な治療選択である

森谷 宏光

第 76 回日本食道学会学術集会, 2022. 9, 東京

6. 〈口演 21-5〉術後 16 年経過し肺転移再発をきたした乳癌の 1 例

三橋 俊介，山崎 宏継，井上 準人，飯塚 美香

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

7. 〈口演 56-6〉胃癌術後食の最適解を求めて

熊澤 勇介，森谷 宏光，内藤 万恵子，小峰 萌衣，岸本 陽子，田上 奈緒子，富井 三恵，山田 直子，金澤 秀紀

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

8. 〈ポスター 117-849〉経膈分娩 IV 度裂傷後に生じた直腸腔瘻に対し，筋膜皮弁充填術で治癒し得た 1 例

大越 悠史，旗手 和彦，三橋 俊介，下形 将央，大友 直樹，桑野 紘治，飯塚 美香，坂本 友見子，森谷 宏光，金澤 秀紀，宇賀神 叶美，秋本 峰克，新井 努，根本 莊一

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

9. 〈ポスター 155-1122〉 穿刺経路確保困難な骨盤内膿瘍に hydrodissection および鈍的穿刺針を用いてドレナージチューブを挿入できた一例

井上 登士郎, 瀧川 政和, 大森 智子, 平川 耕大, 浅野 雄二, 鶴丸 裕司, 旗手 和彦, 金澤 秀紀

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

10. 〈ポスター 155-1126〉 術前に腹腔内遊離ガスを認めた進行卵巣癌による子宮穿孔の一例

大友 直樹, 旗手 和彦, 三橋 俊介, 下形 将央, 鶴丸 裕司, 桑野 紘治, 大越 悠史, 山崎 宏継, 飯塚 美香, 坂本 友見子, 森谷 宏光, 井上 隼人, 金澤 秀紀, 新井 努

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

11. 〈ポスター 159-1157〉 上部消化管手術後の縫合不全治療に組織接着剤は選択肢たりえるか

下形 将央, 森谷 宏光, 鶴丸 裕司, 大友 直樹, 桑野 紘治, 大越 悠史, 飯塚 美香, 坂本 友見子, 旗手 和彦, 金澤 秀紀

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

12. 〈ポスター 147-1070〉 外来化学療法治療センターにおける業務改善について

旗手 和彦, 金澤 秀紀, 武山 茂, 平島 奈奈子, 柳原 奈歩, 山本 美紀, 佐藤 真希

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

13. 〈RO1-8〉 当院における右側結腸切除体腔内吻合の治療方針

大越 悠史

第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2022. 10, 千葉市

14. 〈MO119-4〉 腹腔鏡下胃切除術を Reduced port surgery で成功させる秘訣とは

森谷 宏光, 下形 将央, 大友 直樹, 鶴丸 裕司, 桑野 紘治, 大越 悠史, 細谷 智, 坂本 友見子, 旗手 和彦, 金澤 秀紀

第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022. 12, 名古屋市

15. 〈MO138-5〉 腹腔鏡下肝切除術の導入と初期成績～術後合併症ゼロを目指して～

坂本 友見子, 鶴丸 裕司, 下形 将央, 桑野 紘治, 大友 直樹, 森谷 宏光, 旗手 和彦, 金澤 秀紀, 海津 貴史, 隈元 雄介

第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022. 12, 名古屋市

呼吸器外科

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈ポスター 65-486〉 NHO 相模原病院 呼吸器外科におけるポジショニングへの取り組み
井上 隼人, 山崎 宏継, 三橋 俊介, 阿部 正, 井上 浩嗣, 松田 耕, 小宮山 孝英
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
2. 〈口演 7-4〉 気胸の手術中, 止血操作の電気メスでガーゼに引火した 1 例
國場 幸勇, 井上 隼人, 山崎 宏継, 三橋 俊介, 仁木 有理子, 伊藤 壮平, 小宮 やよい,
小倉 聖剛, 金澤 秀紀, 安達 献
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
3. 〈口演 21-5〉 術後 16 年経過し肺転移再発をきたした乳癌の 1 例
三橋 俊介, 山崎 宏継, 井上 隼人, 飯塚 美香
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
4. 〈ポスター 112-815〉 高度気管分岐異常を有する患者の肺癌手術の麻酔管理
伊藤 壮平, 井上 隼人, 山崎 宏継, 吉岡 俊輔, 永 可奈子, 仁木 有理子
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
5. 〈ポスター 113-821〉 自然気胸手術直前に健側気胸を発症していた一症例
仁木 有理子, 伊藤 壮平, 吉岡 俊輔, 永 可奈子, 井上 隼人, 山崎 宏継
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

形成外科

■和文総説・著書

1. 産後の難治性直腸腔瘻に対し殿溝皮弁で再建した1例

宮本 曜圭, 宇賀神 叶美, 秋本 峰克, 武田 啓

日本形成外科学会誌 2023. 1; 43: 31-36

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 産後の難治性直腸腔瘻を再建した1例

武田 理仁, 宇賀神 叶美, 秋本 峰克, 宮本 曜圭, 武田 啓

第25回北里形成外科フォーラム, 2022. 10, 相模原市

2. 〈ポスター 117-849〉経膈分娩IV度裂傷後に生じた直腸腔瘻に対し, 筋膜皮弁充填術で治癒し得た1例

大越 悠史, 旗手 和彦, 三橋 俊介, 下形 将央, 大友 直樹, 桑野 紘治, 飯塚 美香,
坂本 友見子, 森谷 宏光, 金澤 秀紀, 宇賀神 叶美, 秋本 峰克, 新井 努, 根本 荘一

第76回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

消化器内科

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈一般演題(下部消化管 4)〉ステロイドパルス療法を要した消化管病変を伴う IgA 血管炎の 1 例

迎 美幸, 齋藤 公哉, 安達 快, 大高 史聖, 川岸 加奈, 菅野 聡, 安達 献, 中島 塁,
森 瞳子

日本消化器病学会関東支部第 371 回例会, 2022. 9, Web 開催

循環器内科

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈講演 8-2085〉多種類のモダリティで虚血評価し治療に成功した安定型狭心症の1例

栗原直人, 大竹諒, 福岡雅浩, 高橋広軌, 山本明日香, 野田光里, 森田有紀子, 日比潔, 田村功一

第59回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会
心血管インターベンションの進むべき道, 2022. 5, 東京

2. Sex Differences in the Associations between HDL-cholesterol Levels and Mortality in High-risk Japanese Patients: The ANOX and EXCEED-J Studies

和田啓道, 篠崎毅, 鈴木雅裕, 網代洋一, 阪上学, 松田守弘, 船田淳一, 清水雅俊, 竹中孝, 森田有紀子, 米澤一也, 松原広己, 中村俊博, 藤本和輝, 小野裕二郎, 加藤徹, 二宮暁代, 鶴木崇, 高木大輔, 益永信豊, 石井充, 和田享万, 和田都花, 中山匠, 井口守丈, 小谷和彦, 阿部充, 赤尾昌治, 長谷川浩二

第77回日本循環器学会学術集会, 2023. 3, 福岡市

3. Optimal Determination of Coronary Calcium Scores Using Non-ECG-gated Computed Tomography for Attenuation Correction in Myocardial Perfusion SPECT

野田光里, 堀口順子, 栗原直人, 山根英路, 高橋広軌, 山本明日香, 福岡雅浩, 森田有紀子

第77回日本循環器学会学術集会, 2023. 3, 福岡市

4. Growth Differentiation factor-15 and Body Mass Index in Heart Failure: The PRE-HOSP-CHF Study

井口守丈, 和田啓道, 篠崎毅, 鈴木雅裕, 網代洋一, 松田守弘, 小池明広, 小泉智三, 清水雅俊, 小野裕二郎, 竹中孝, 阪上学, 森田有紀子, 藤本和輝, 米澤一也, 吉田和朗, 二宮暁代, 中村俊博, 船田淳一, 梶川隆, 大石佳史, 加藤徹, 小谷和彦, 阿部充, 赤尾昌治, 長谷川浩二

第77回日本循環器学会学術集会, 2023. 3, 福岡市

5. Involvement of Growth Differentiation Factor 15 in Obesity Paradox in Suspected or Known Coronary Artery Disease: The ANOX Study

松田守弘, 鈴木雅裕, 網代洋一, 篠崎毅, 阪上学, 米澤一也, 清水雅俊, 船田淳一, 竹中孝, 森田有紀子, 中村俊博, 藤本和輝, 松原広己, 加藤徹, 鶴木崇, 高木大輔, 益永信豊, 石井充, 和田享万, 和田都花, 井口守丈, 小谷和彦, 阿部充, 赤尾昌治, 長谷川浩二, 和田啓道

第77回日本循環器学会学術集会, 2023. 3, 福岡市

[学術講演・他]

1. 〈ディスカッション〉リードレスペースメーカーの安全, 適切な植え込み手技を目指して

岸田登志彦, 清國雅義, 秋元耕, 渡邊則和, 森田有紀子, 澤田玲民, 佐藤陽

Safety Micra~幸せと安全を患者様に~, 2022. 7, Web開催

2. 〈講演 2〉心腎貧血症候群-腎性貧血治療剤 HIF-PH 阻害薬への期待-

山本 明日香

腎性貧血治療 Update ～循環器内科の立場から心腎貧血症候群を考える～, 2022. 9, Web 開催

3. 複数のモダリティで評価し得た虚血性心疾患の 2 例

栗原 直人

第 214 回 YCS(Yokohama Cardiac Seminar), 2022. 9, Web 開催

4. 〈一般演題〉腎性貧血治療における HIFPH 阻害薬の役割

福岡 雅浩

第 25 回桜台循環器カンファレンス, 2023. 1, 相模原市・Web 開催

5. MCTD に PH を合併し 10 年経過した症例-維持期は何を指標にどう管理したらいいのか?-

山本 明日香

PH NETWORK seminar, 2023. 2, Web 開催

6. 循環器医が考える心腎貧血症候群の治療戦略

山本 明日香

心腎関連トータルケアについて考える, 2023. 3, 町田市・Web 開催

泌尿器科

■英文原著・短報

1. Impact of salvage cytotoxic chemotherapy on prognosis in patients with recurrence after radical cystectomy: a multi-institutional retrospective study

Koguchi D, Matsumoto K, Ikeda M, Taoka Y, Hirayama T, Murakami Y, Utsunomiya T, Matsuda D, Okuno N, Irie A, Iwamura M

BMC Urology. 2022 May; 22(1): 75

2. Noninferior oncological outcomes in adults aged 80 years or older compared with younger patients who underwent radical nephroureterectomy for upper tract urothelial carcinoma

Yamada Y, Ikeda M, Hirayama T, Murakami Y, Koguchi D, Matsuda D, Okuno N, Taoka Y, Utsunomiya T, Irie A, Matsumoto K, Iwamura M

Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology. 2022 Jul; :

3. Outcomes of artificial urinary sphincter implantation in patients with diabetes mellitus: A subgroup analysis

Kaiho Y, Masuda H, Takei M, Hirayama T, Kitta T, Yokoyama M, Kawamorita N, Mitsui T, Nakagawa H, Iwamura M, Arai Y.

International Journal of Urology. 2022 Dec; 29(12): 1498–1504

4. A multi-institutional retrospective study of open versus laparoscopic nephroureterectomy focused on the intravesical recurrence

Shimura S, Matsumoto K, Ikeda M, Moroo S, Koguchi D, Taoka Y, Hirayama T, Murakami Y, Utsunomiya T, Matsuda D, Okuno N, Irie A, Iwamura M

Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology. 2023 Feb; 19(1): 71–78

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈P-104〉進行性腎腫瘍による腹膜播腫に対して sequence therapy が著効した一例

石川 裕和

第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 2022. 10, 北佐久郡軽井沢町

産科・婦人科

■和文原著

1. 閉経後の巨大筋腫を有する子宮捻転の一例

遠藤 奈緒美, 新井 努, 五十畑 仁志, 善平 沙弥香, 島岡 享生

関東連合産科婦人科学会誌 2022. 11; 59(4): 419-423

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈ポスター 117-849〉経膈分娩 IV 度裂傷後に生じた直腸膿瘍に対し、筋膜皮弁充填術で治癒し得た 1 例

大越 悠史, 旗手 和彦, 三橋 俊介, 下形 将央, 大友 直樹, 桑野 紘治, 飯塚 美香, 坂本 友見子, 森谷 宏光, 金澤 秀紀, 宇賀神 叶美, 秋本 峰克, 新井 努, 根本 莊一

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

2. 〈ポスター 155-1126〉術前に腹腔内遊離ガスを認めた進行卵巣癌による子宮穿孔の一例

大友 直樹, 旗手 和彦, 三橋 俊介, 下形 将央, 鶴丸 裕司, 桑野 紘治, 大越 悠史, 山崎 宏継, 飯塚 美香, 坂本 友見子, 森谷 宏光, 井上 隼人, 金澤 秀紀, 新井 努

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

[学術講演・他]

1. 医療安全について

島岡 享生

2022 年度神奈川県母体保護法指定医師研修会, 2022. 8, 川崎市

眼科

■国内発表

[学術講演・他]

1. 慢性的な眼痛の治療に難渋している重症筋無力症

春木 崇宏

北里大学病院眼科モーニングケースカンファランス(MCC), 2022. 6, 相模原市

2. 抗癌剤使用時に眼症状を呈した3症例

鈴木 雅信

北里大学眼科モーニングケースカンファランス(MCC), 2023. 1, 相模原市

診療部その他

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈D-3〉問診票得点と臨床所見に基づく化学物質過敏症・電磁過敏症とアレルギー疾患の比較

北條 祥子, 水越 厚史, 金谷 久美子, 宮田 幹夫, 小倉 英郎, 釣木澤 尚実,
押方 智也子, 渡井 健太郎, 山中 隆夫, 小澤 麻紀, 相場 節也, 角田 和彦,
黒岩 義之

第30回日本臨床環境医学会学術集会, 2022. 6, 東京・Web 開催

2. 〈D-2〉環境過敏症の発症要因・診断・治療・予防に関する最新知見と今後の展望

北條 祥子, 水越 厚史, 中里 直美, 鈴木 高弘, 角田 和彦, 西影京子,
渡井 健太郎, 山中 隆夫, 近藤 哲哉, 平井 利幸, 黒岩 義之

第30回日本臨床環境医学会学術集会, 2022. 6, 東京・Web 開催

3. 〈P-51〉疫学視点から見た環境過敏症の現状と今後の展望

北條 祥子, 中里 直美, 水越 厚史, 鈴木 高弘, 菅原 正則, 山中 隆夫, 黒岩 義之

2022年室内環境学会学術大会, 2022. 12, 東京

4. 〈P-52〉新型コロナ禍前後の大学生の生活スタイルと健康状態に関する比較調査

北條 祥子, 菅原 正則, 小山 桃花, 水越 厚史, 山中 隆夫, 黒岩 義之

2022年室内環境学会学術大会, 2022. 12, 東京

5. 〈P-53〉睡眠障害と環境過敏症

山中 隆夫, 北條 祥子

2022年室内環境学会学術大会, 2022. 12, 東京

リハビリテーション科

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈シンポジウム発表〉パーキンソン病のリハビリテーション～当院での取り組み～

境野 敦

第5回パーキンソン病治療シンポジウム, 2022. 9, 東京

[学術講演・他]

1. 〈市民公開講座講師〉パーキンソン病のリハビリテーションについて

三澤 俊太

パーキンソン病市民公開講座, 2022. 10, 町田市

2. 〈講演〉パーキンソン病治療を支える嚥下リハビリと内服支援

池山 順子

パーキンソン病多職種連携 Web 講演会, 2022. 12, Web 開催

3. 〈研修講師〉難病患者のリハビリテーション支援について

小池 友和

難病患者等ホームヘルパー養成研修, 2022. 12, 相模原市(当院)

4. 〈研修講師〉難病患者の介護事例～嚥下・摂食が困難な難病患者への支援

池山 順子

難病患者等ホームヘルパー養成研修, 2022. 12, 相模原市(当院)

病理診断科

■英文原著・短報

1. Decreased expression of airway epithelial Axl is associated with eosinophilic inflammation in severe asthma

Itakura K, Fujino N, Kamide Y, Saito I, Yamada M, Okutomo K, Tsukita Y, Saito T, Ichikawa T, Numakura T, Kyogoku Y, Aizawa H, Ono Y, Matsumoto S, Hussell T, Taniguchi M, Ichinose M, Sugiura H

Allergology International. 2022 Jul; 71(3): 383-394

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈90〉不全型ベーチェット病と考えた1例

佐々木 聡, 中川 紅葉, 森 瞳子, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 荻原 秀樹, 堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子

第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2022. 11, 東京・Web 開催

2. 〈91〉活動性の関節炎部位を中心に皮疹を生じた限局性強皮症の1例

森 瞳子, 佐々木 聡, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 鈴木 智博, 堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子

第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2022. 11, 東京・Web 開催

3. 〈08-5〉蛋白尿, 補体低下を呈するも, 腎生検上, ループス腎炎が否定的だった全身性エリテマトーデス (SLE) の経験

鈴木 智博, 津野 宏隆, 吉田 智哉, 大久 俊輝, 中島 壘, 児玉 華子, 野木 真一, 堀田 綾子, 荻原 秀樹, 松井 利浩, 齋藤 生朗

第32回日本リウマチ学会 関東支部学術集会, 2022. 12, 東京

[学術講演・他]

1. Persistent pruritic eruptions を呈した成人 Still 病の1例

森 瞳子, 川邊 瑠璃子, 佐々木 聡, 三枝 良輔, 矢野 優美子, 三井 彩, 児玉 華子, 堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子

日本皮膚科学会第902回東京地方会, 2022. 7, Web 開催

麻酔科

■和文原著

1. レボピバカインとロピバカインを用いた硬膜外麻酔後に遷延性感覚障害と下肢の筋力低下を来した1症例

本田 崇紘, 竹浪 民江, 仁木 有理子, 宮下 真信, 阪井 茉有子, 伊藤 壮平

麻酔 2023. 2; 72(2): 134-137

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈口演 7-4〉気胸の手術中, 止血操作の電気メスでガーゼに引火した1例

國場 幸勇, 井上 隼人, 山崎 宏継, 三橋 俊介, 仁木 有理子, 伊藤 壮平, 小宮 やよい,
小倉 聖剛, 金澤 秀紀, 安達 献

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

2. 〈ポスター 112-815〉高度気管分岐異常を有する患者の肺癌手術の麻酔管理

伊藤 壮平, 井上 隼人, 山崎 宏継, 吉岡 俊輔, 永 可奈子, 仁木 有理子

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

3. 〈ポスター 113-821〉自然気胸手術直前に健側気胸を発症していた一症例

仁木 有理子, 伊藤 壮平, 吉岡 俊輔, 永 可奈子, 井上 隼人, 山崎 宏継

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

4. 〈ポスター 116-839〉硬膜外麻酔時の偶発的硬膜穿刺における硬膜穿刺後頭痛軽減のための取り組み

永 可奈子, 伊藤 壮平, 仁木 有理子, 吉岡 俊輔

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

5. 〈ポスター 19-2〉巨大子宮筋腫に多血症を合併した患者の麻酔管理

永 可奈子, 仁木 有理子, 吉岡 俊輔, 伊藤 壮平

第 42 回日本臨床麻酔学会, 2022. 11, 京都市・Web 開催

放射線科

■英文原著・短報

1. Fact-finding survey on the competencies and literacy of radiological technologists regarding radiation disasters

Arai T, Murata S, Watanabe Y, Ishihara T, Fukamizu Y, Takeda S, Ebata K, Watanabe Y, Takashima Y

Journal of X-Ray Science and Technology. 2022 Dec; 31(2): 237-245

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈ポスター 60-448〉早期トシリズマブ併用にて大血管狭窄，壁肥厚の可逆的な改善・正常化を定量的に評価できた高安動脈炎の一例

野木 真一，鈴木 智博，大久 俊輝，中島 壘，吉田 智哉，児玉 華子，津野 宏隆，川上 正裕，小宮 明子，大森 智子，松井 利浩

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

2. 〈ポスター 72-539〉複数患者対応（マルチユース）CT インジェクタ使用の経験

永井 亨弥，村石 泰伸，神戸 亮一，小栗 綾華，石川 太朗，平井 隆昌，武田 聡司，瀧川 政和

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

3. 〈ポスター 155-1122〉穿刺経路確保困難な骨盤内膿瘍に hydrodissection および鈍的穿刺針を用いてドレナージチューブを挿入できた一例

井上 登士郎，瀧川 政和，大森 智子，平川 耕大，浅野 雄二，鶴丸 裕司，旗手 和彦，金澤 秀紀

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

4. 〈ポスター 168-1218〉大腸憩室出血に対する TAE 時における経カテーテル的 CT-Angiography の有用性

飯島 颯，川崎 博司，平井 隆昌，武田 聡司，瀧川 政和

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

5. 〈ポスター 171-1232〉前立腺癌 3DCRT における PTV マージンに関する検討

田中 慶志，高橋 実里，山田 哲弘，平井 隆昌，武田 聡司，北野 雅史

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

臨床検査部門

■英文原著・短報

1. Predisposition of HLA-DRB1*04:01/ *15 heterozygous genotypes to Japanese mixed connective tissue disease

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Komiya A, Matsui T, Fukui N, Suematsu E, Ohno S, Kono H, Katayama M, Nagaoka S, Migita K, Tohma S
Scientific Reports. 2022 Jun; 12(1): 9916

2. Antibodies against serum anti-melanoma differentiation-associated gene 5 in rheumatoid arthritis patients with chronic lung diseases.

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Okamoto A, Hashimoto A, Komiya A, Saisho K, Yoshikawa N, Katayama M, Matsui T, Fukui N, Migita K, Tohma S
Medicina (Kaunas, Lithuania). 2023 Feb; 59(2): 363

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈P55-6〉成人 Still 病に急性呼吸窮迫症候群を合併した 1 例

富永 晃都, 大久 俊輝, 鈴木 智博, 澤田 崇幸, 矢野 裕介, 児玉 華子, 野木 真一,
津野 宏隆, 荻原 秀樹, 小宮 明子, 松井 利浩
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

2. 〈P14-3〉関節リウマチ関連間質性肺病変と抗シトルリン化ペプチド抗体, リウマトイド因子, 抗カルバミル化蛋白抗体

岡 笑美, 樋口 貴士, 古川 宏, 島田 浩太, 岡本 享, 橋本 篤, 小宮 明子, 税所 幸一郎,
吉川 教恵, 片山 雅夫, 松井 利浩, 福井 尚志, 右田 清志, 當間 重人
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

3. 〈W73-6〉高度難治性の痛風性関節炎に対し, 外科的処置およびトシリズマブ(TCZ)導入によりコントロールできた一例

児玉 華子, 大久 俊輝, 鈴木 智博, 澤田 崇幸, 矢野 裕介, 富永 晃都, 野木 真一,
津野 宏隆, 荻原 秀樹, 小宮 明子, 松井 利浩
第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2022. 4, 横浜市・Web 開催

4. 〈免疫血清〉アレルギー検査分析装置院内導入前後の検査依頼数推移報告

小林 史佳, 井田 貴明, 瀧澤 光彦, 小野 剛司, 中谷 道昭, 安田 寿美子, 若林 弘,
岩崎 聖二, 武山 茂, 小宮 明子
第 50 回国臨協関信支部記念学会, 2022. 9, Web 開催

5. 〈ポスター 60-448〉早期トシリズマブ併用にて大血管狭窄, 壁肥厚の可逆的な改善・正常化を定量的に評価できた高安動脈炎の一例

野木 真一, 鈴木 智博, 大久 俊輝, 中島 壘, 吉田 智哉, 児玉 華子, 津野 宏隆,
川上 正裕, 小宮 明子, 大森 智子, 松井 利浩
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

6. 〈ポスター 60-451〉リウマチ性多発筋痛症の UBA1 遺伝子解析

樋口 貴士, 野木 真一, 岡 笑美, 古川 宏, 島田 浩太, 橋本 篤, 小宮 明子, 松井 利浩,
東 孝典, 杉山 隆夫, 平野 史倫, 岡本 亨, 寶來 吉朗, 片山 雅夫, 右田 清志, 當間 重人
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

7. 〈ポスター 60-444〉日本人 MCTD 患者では HLA-DRB1*04:01/*15 と *09:01/*15 が増加している

岡 笑美, 樋口 貴士, 古川 宏, 島田 浩太, 橋本 篤, 小宮 明子, 松井 利浩, 福井 尚志,
末松 栄一, 大野 滋, 河野 肇, 片山 雅夫, 長岡 章平, 右田 清志, 當間 重人
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

8. 〈ポスター 147-1070〉外来化学療法治療センターにおける業務改善について

旗手 和彦, 金澤 秀紀, 武山 茂, 平島 奈奈子, 柳原 奈歩, 山本 美紀, 佐藤 真希
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

薬剤部門

■和文原著

1. BNT162b2mRNA COVID-19 ワクチン接種後の抗体価に関する要因の解析

丸山 浩平, 足立 遼子, 関谷 潔史

日本環境感染学会誌 2022. 11; 37(6): 248-255

■国内発表

[学術講演・他]

1. Team STEPPS～医療安全の推進に向けて～

佐藤 ソメヨ

第25回関信地区国立病院薬剤師会新任薬剤師研修会, 2022. 7, Web 開催

栄養管理部門

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈口演 56-6〉胃癌術後食の最適解を求めて

熊澤 勇介, 森谷 宏光, 内藤 万恵子, 小峰 萌衣, 岸本 陽子, 田上 奈緒子, 富井 三恵,
山田 直子, 金澤 秀紀

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

[学術講演・他]

1. 褥瘡における栄養管理について

内藤 万恵子

褥瘡勉強会, 2022. 11, Web 開催

2. 食物アレルギーについて

富井 三恵

全国本部栄養士研修会, 2023. 1, Web 開催

看護部門

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈シンポジウム 35-3〉 国立医療に求められる「医療安全管理体制」とは—看護管理者が考える医療安全体制と感染管理—

青井 久江

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

[学会_一般演題]

1. 〈演題 2〉 リエゾンをもちいた退院支援

高橋 八重子

第 12 回国立病院機構関東信越グループ神経・筋疾患ネットワーク研究会, 2022. 7, Web 開催

2. 〈ポスター 8-060〉 関節リウマチ患者の弾性ストッキング着用による MDRPU 発生状況に関する調査 ～整形外科病棟における調査～

天童 梨奈, 古木 智子, 榎崎 遥, 吉留 美佳子, 浦部 玖映, 清田 久美子

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

3. 〈口演 16-1〉 A 病院看護職員の医療安全文化調査（病院）からの現状と課題

尾形 智美, 青井 久江

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

4. 〈口演 37-5〉 看護師のアナフィラキシーショックに対する認知度調査

金子 優貴, 縣 麻里子, 大戸 摩野, 座間 有美, 浅井 美咲, 横田 唯

第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

5. 〈一般口述演題 2-8〉 リエゾンをもちいた退院支援～病棟看護師の役割と課題～

高橋 八重子

第 10 回日本難病医療ネットワーク学会学術集会, 2022. 11, 東京

治験部門

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈P-027〉感染症病棟での治験手順策定の取り組み～多職種との連携～

東 千博, 金田 玲奈, 玉谷 澄佳, 瀬戸 富美子, 宮坂 順子, 大石 早紀, 成瀬 加代子,
佐藤 ソメヨ, 大松 華子

第 22 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議, 2022in 新潟, 2022. 9, 新潟市

事務部門

■国内発表

[学会_一般演題]

1. 〈ポスター 65-486〉 NHO 相模原病院 呼吸器外科におけるポジショニングへの取り組み
井上 準人, 山崎 宏継, 三橋 俊介, 阿部 正, 井上 浩嗣, 松田 耕, 小宮山 孝英
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市
2. 〈ポスター 87-634〉 事務職の分析と医療職の協力によるコロナ特例 HCU の導入
阿部 正, 石田 秀志, 上後 剛範, 松田 耕, 井上 浩嗣, 小宮山 孝英
第 76 回国立病院総合医学会, 2022. 10, 熊本市

IV. 【年次報告】

研究助成による研究参画

令和4年度 研究助成

| 項目 | 研究課題名 | 研究者名 | 研究事業名 (依頼業者名) | 主任分担 の別 |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------|
| 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) | 重症喘息の気道に腐生する真菌へのアレルギー診断法の開発とその実態解明 (20K08790) | 福富 友馬 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 |
| | 重症喘息の気道に腐生する真菌へのアレルギー診断法の開発とその実態解明 (20K08790) | 川上 裕司 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 線溶活性の亢進と疼痛発現に着目した変形性関節症の滑膜病変の解明 (20K09447) | 福井 尚志 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 |
| | 線溶活性の亢進と疼痛発現に着目した変形性関節症の滑膜病変の解明 (20K09447) | 大橋 暁 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 線溶活性の亢進と疼痛発現に着目した変形性関節症の滑膜病変の解明 (20K09447) | 岩澤 三康 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 軟骨変性部における軟骨細胞の機能変化に着目した変形性関節症の進行機序の解明 (20K09470) | 田中 信帆 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 |
| | 軟骨変性部における軟骨細胞の機能変化に着目した変形性関節症の進行機序の解明 (20K09470) | 福井 尚志 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | Th1 細胞型重症喘息に適応した治療薬の喘息マウスモデルによる選択 (20K17436) | 神山 智 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究 | 主任 |
| | T 細胞依存性遅発型喘息反応メディエータの解明 (21K08486) | 森 晶夫 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 |
| | 食物アレルギーの小児期から成人期の移行期医療におけるアンメットニーズの可視化 (21K03123) | 柳田 紀之 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 |
| | 食物アレルギーの小児期から成人期の移行期医療におけるアンメットニーズの可視化 (21K03123) | 海老澤 元宏 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 食物アレルギーの小児期から成人期の移行期医療におけるアンメットニーズの可視化 (21K03123) | 佐藤 さくら | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 変形性関節症において変形軟骨から荷重により遊離し、滑膜病変を引き起こす因子の探索 (21K16722) | 津野 宏隆 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究 | 主任 |
| | 重篤なアレルギー症状に関与する甲殻類アレルギー構造の解明 (20H01614) | 福富 友馬 | 科学研究費助成事業 科学研究費補助金 基盤研究 B | 分担 |
| | アレルギー-対応非常食の社会実装のための分子論的基盤とそれを応用した食品の開発 | 海老澤 元宏 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| 自己免疫性自立神経節障害の「多様性」に関する多角的研究 (19H03549) | 鈴木 隆二 | 科学研究費助成事業 科学研究費補助金 基盤研究 B | 分担 | |
| 痛みと進行のリンクに着目した変形性関節症の病態解明 (22K09321) | 大橋 暁 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 | |

| | | | | |
|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------|----|
| (学術研究助成基金助成事業) 科学研究助成基金助成金 | 痛みと進行のリンクに着目した変形性関節症の病態解明 (22K09321) | 福井 尚志 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 痛みと進行のリンクに着目した変形性関節症の病態解明 (22K09321) | 津野 宏隆 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | タンパク分解酵素の活性化因子に着目した変形性関節症における軟骨の変性機序の検討(22K09344) | 岩澤 三康 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 主任 |
| | タンパク分解酵素の活性化因子に着目した変形性関節症における軟骨の変性機序の検討(22K09344) | 福井 尚志 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | タンパク分解酵素の活性化因子に着目した変形性関節症における軟骨の変性機序の検討(22K09344) | 津野 宏隆 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| | 免疫統合オミックス解析を用いた口腔がん免疫療法の予後予測モデルの構築 (22K10113) | 鈴木 隆二 | 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C | 分担 |
| 厚生労働科学研究費 | 各都道府県におけるアレルギー疾患医療連携体制構築に関する研究 (22FE2001) | 海老澤 元宏 | 免疫・アレルギー疾患政策研究事業 | 主任 |
| | 食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立と普及を目指す研究 (21FE1002) | 海老澤 元宏 | 免疫・アレルギー疾患政策研究事業 | 主任 |
| | 神経変性疾患領域の基盤的調査研究 (20FC1049) | 長谷川 一子 | 難治性疾患政策研究事業 | 分担 |
| | アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究 (20FE2001) | 福富 友馬 | 免疫・アレルギー疾患政策研究事業 | 分担 |
| | アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究 (20FE2001) | 高橋 亨平 | 免疫・アレルギー疾患政策研究事業 | 分担 |
| | 移行期 JIA を中心としたリウマチ性疾患における患者の層別化に基づいた生物学的製剤等の適正使用に資する研究 (21FE1003) | 松井 利浩 | 免疫・アレルギー疾患政策研究事業 | 分担 |
| | スモンに関する調査研究 | 長谷川 一子 | 難治性疾患政策研究事業 | 分担 |
| 日本医療研究開発機構研究費 | 進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を対象とした多施設共同前向きコホート研究による質の高い診療エビデンスの構築 (22ek0109545s0202) | 長谷川 一子 | 難治性疾患実用化研究事業 | 分担 |
| | 高齢発症関節リウマチ患者の健康寿命延伸を目指した治療戦略の確立 (22ek0410086s0402) | 松井 利浩 | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | 分担 |
| | 真菌関連アレルギー性気道疾患における真菌生態・宿主応答機序の解明と発症・増悪・重症化予防法の開発 (22ek0410097s0601) | 福富 友馬 | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | 分担 |
| | 乳児期発症のアトピー性皮膚炎の予後を追跡しアレルギーマーチへの診療の影響と危険因子を探索する前向きコホート研究 (22ek0410067s0903) | 海老澤 元宏 | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | 分担 |
| | 重症気管支喘息患者の生物学的製剤の有効性を予測するバイオマーカーの探索 (22ek0410066s0103) | 関谷 潔史 | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | 分担 |
| | 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 肺炎に対する PAI-1 阻害薬 TM5614 のプラセボ対照二重盲検Ⅱ相医師主導治験 (21fk0108501u5201) | 関谷 潔史 | 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 | 分担 |
| | アトピー性皮膚炎をモデルとした次世代リバーストランスレシヨナル研究基盤構築に向けた研究 (22ek0410090s0401) | 佐藤 さくら | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | 分担 |
| ナッツ類アレルギーの診断精度向上のための新規アレルゲンコンポーネントの開発 (22ek0410096h0001) | 佐藤 さくら | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | 主任 | |

| | | | | |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------|----|
| その他財団等からの研究費 | タンパク分解酵素の活性化に着目した変形性関節症における軟骨変性機序の解明 | 津野 宏隆 | (公財) 三井住友海上福祉財団 | 主任 |
| | NGF と endothelin-1 の関連に着目した OA の滑膜病変の解明 | 津野 宏隆 | 中富健康科学振興財団 | 主任 |
| | LGG 乳酸菌を併用して行う経口免疫療法の有効性を検証する研究 | 三浦 陽子 | (公財) ニッポンハム食の未来財団 | 主任 |
| | アレルギーコンポーネントを活用した乳児期の食物アレルギー感作に関する研究 | 佐藤 さくら | (公財) ニッポンハム食の未来財団 | 主任 |
| | ISAR 国際重症喘息登録研究費 | 関谷 潔史 | 一般社団法人 近畿・北陸気道疾患研究会 | 主任 |
| | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の病態を解析する研究 | 谷口 正実 | 研究者主導医学系研究 グラクソ・スミスクライン (株) | 主任 |
| | Bio-Digital Transformation (バイオ DX) 産学共創拠点 | 海老澤 元宏 | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | 主任 |
| | 消化器系腫瘍組織を用いた免疫学的・分子生物学的解析による病因解明・病態解析に関する研究 | 金澤 秀紀 | Repertoire Genesis | 主任 |
| | 低年齢のアレルギー性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法がもたらすアレルギーコンポーネントへの影響 | 佐藤 さくら | 鳥居薬品 (株) | 主任 |
| | 肝癌・非代償性肝硬変患者データベース構築 | 中村 陽子 | (一社) National Clinical Database | 主任 |
| | 現行のパーキンソン病の薬物療法では十分に制御できない運動機能変動を有するパーキンソン病患者の臨床成績及び疾病負荷を評価する前向き観察試験 | 長谷川 一子 | アツヴィ | 主任 |
| | オボムコイドを含まない鶏卵のアレルギー性評価に関する研究 | 海老澤 元宏 | キュービー (株) | 主任 |
| | 予防事業対象地域を含む気管支ぜん息等の有症率と動向等<3>-② | 福富 友馬 | (独)環境再生保全機構 | 分担 |
| | 食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業 | 海老澤 元宏 | 消費者庁 | 主任 |
| | ベンチマークドーズ法によるアレルギー症状誘発確率の検討 (JPCAFSC20202009) | 海老澤 元宏 | 内閣府 | 主任 |
| 民間セクターからの寄附金 | パーキンソン病患者に対する在宅支援並びに治療推進 | 長谷川 一子 | (株) サンウェルズ | 主任 |
| | 眼内レンズを用いた手術治療等の視機能改善効果の検討 | 鈴木 雅信 | (株) リイツメディカル | 主任 |
| | パーキンソン病に対応した音楽療法の構築-4 のため | 長谷川 一子 | 大塚製薬 (株) | 主任 |
| | 気管支喘息における難治化因子および致死発作・大発作入院危機因子の検討のため | 関谷 潔史 | 大鵬薬品工業 (株) | 主任 |
| | 関節リウマチ患者に合併する悪性疾患に関する研究への助成のため | 松井 利浩 | 旭化成ファーマ (株) | 主任 |
| | ライフステージに応じた関節リウマチ患者の診療実態の把握と課題解決に向けた研究のため | 松井 利浩 | 中外製薬 (株) | 主任 |
| | リウマチ性疾患に関する研究 | 松井 利浩 | 田辺三菱製薬 (株) | 主任 |
| | 臨床研究助成のため | 長谷川 一子 | 日本ベーリンガーインゲルハイム (株) | 主任 |
| | 高齢発症関節リウマチ患者の治療戦略に関する研究 | 松井 利浩 | 大正製薬 (株) | 主任 |
| 花粉アレルギー患者の全身症状に関する研究 | 福富 友馬 | ノバルティスファーマ(株) | 主任 | |

令和4年度 NHO ネットワーク共同研究

| 研究者 | 代表者に○ | 研究課題名 |
|--------|-------|----------------------------------------------------------------------------|
| 海老澤 元宏 | ○ | 低年齢の通年性アレルギー-鼻炎に対するダニ舌下免疫療法のランダム化比較試験による有効性の検討 |
| 森谷 宏光 | | 胃がん術後の予後因子の解析: Transmembrane serine protease4(Tmprss4) のバイオマーカーとしての有用性の検証 |
| 柳田 紀之 | ○ | synbiotics 投与による食物アレルギー発症予防効果の二重盲検ランダム化比較試験による検証 |
| 柳田 紀之 | | 反復喘鳴を呈した1歳児の喘息発症予測フェノタイプに関する研究 |
| 永倉 顕一 | ○ | 重症の鶏卵アレルギー児に対するプロバイオティクスを併用する経口免疫療法の二重盲検ランダム化比較試験による検証 |
| 野木 真一 | ○ | リウマチ性多発筋痛症の診断・治療バイオマーカーの探索 |
| 森田 有紀子 | | 慢性心不全患者の新しい再入院リスク評価法の確立 —新規バイオマーカーと心不全再入院イベントの関連— |
| 森田 有紀子 | | 簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立 |
| 山口 知子 | | 安静時 fMRI と構造 MRI の聴覚中枢ターゲット解析を用いた成人人工内耳の予後予測法を確立する研究 |
| 迎 美幸 | | 薬物性肝障害および急性発症型自己免疫性肝炎を含む急性肝炎の発生状況および重症化、劇症化に関する因子に関する研究 |
| 松井 利浩 | | 関節リウマチに伴う肺非結核性抗酸菌症の新規バイオマーカーの探索 |
| 松井 利浩 | | Liquid biopsy を用いた MTX-LPD の診断及び病態予測の検討 |
| 齋藤 生朗 | | Liquid biopsy を用いた MTX-LPD の診断及び病態予測の検討 |

令和4年度 EBM 推進のための大規模臨床研究

| 研究者 | 代表者に● | 研究課題名 |
|--------|-------|----------------------------------------------|
| 森田 有紀子 | | 我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究 (LM-JANHO) |

メディア

■新聞

1. 公明新聞 創刊 60 年 各界から祝福の声政権与党の情報発信に期待
海老澤 元宏 公明新聞, 2022/ 4/ 1
2. 大人の食物アレルギー
福富 友馬 日刊ゲンダイ, 9, 2022/ 4/ 14
3. 患者を生きる 4331 クルミアレルギー①
海老澤 元宏 朝日新聞, p17, 2022/ 5/ 2
4. 患者を生きる 4332 クルミアレルギー②
海老澤 元宏 朝日新聞, p20, 2022/ 5/ 3
5. 患者を生きる 4333 クルミアレルギー③
海老澤 元宏 朝日新聞, p17, 2022/ 5/ 4
6. 患者を生きる 4334 クルミアレルギー④
海老澤 元宏 朝日新聞, p16, 2022/ 5/ 5
7. 増えている 大人の食物アレルギー
福富 友馬 聖教新聞, 2022/ 5/ 5
8. 患者を生きる 4334 クルミアレルギー⑤
海老澤 元宏 朝日新聞, p17, 2022/ 5/ 6
9. 果物など大人の食物アレルギー 原因は花粉症の可能性
福富 友馬 中日新聞, 2022/ 5/ 17
10. 「木の実類」アレルギー
海老澤 元宏 朝日小学生新聞, 1, 2022/ 8/ 3
11. 大人にも食物アレルギー？
福富 友馬 夕刊読売新聞, 3, 2022/ 9/ 17
12. 大人の食物アレルギー
福富 友馬 日本経済新聞, s7, 2022/ 10/ 15
13. 患者の大きな安心に
海老澤 元宏 公明新聞, 3, 2022/ 11/ 25
14. 小 5 アレルギー死亡 ミス連鎖の教訓全国へ
海老澤 元宏 朝日新聞, 2, 2022/ 12/ 19

15. 新年のご挨拶

海老澤 元宏

さくら, 2, 2023/1/31

■テレビ

1. クルミアレルギーが急増 原因と対策は

海老澤 元宏

ABEMA ヒルズ, 昼 12 時から 7 分間放送, 2022/5/12

2. クルミアレルギーの増加について

海老澤 元宏

グッド!モーニング, 2022/6/8

3. 中居正広のキャスターな会 「プロ×メシな会～アレルギー編～」

海老澤 元宏

テレビ朝日, 2023/1/28

4. 大量飛散「花粉」食物アレルギー発症にも注意

海老澤 元宏

ニュース LIVE! ゆう 5 時, 2023/2/28

■ラジオ

1. 増えている木の実アレルギー

海老澤 元宏

ラジオ NIKKEI 医学講座, 2022/11/22

■雑誌

1. 抗アレルギー力

福富 友馬

婦人画報, 2022/4/1

2. 果物アレルギーが急増中

福富 友馬

女性自身, 122-123, 2022/5/24

3. 食の気になる話題①大人の食物アレルギー

海老澤 元宏

日経ヘルス 2022 夏号, 88-91, 2022/6/14

4. 大人の食物アレルギーにご用心!

福富 友馬

へるすあっぷ 21, 43-49, 2022/7/1

5. 知っておきたい, 食物アレルギーの基礎知識

房安 直子, 海老澤 元宏

エキスパートナーズ, 136-141, 2022/8/20

6. 誰もが正しい知識を身に付けておきたい食物アレルギーのこと

海老澤 元宏

LIFE, 3-6, 2022/9/1

7. 対談 親子で学ぼう! 食物アレルギー

海老澤 元宏

あんふあん, 18-19, 2022/9/10

8. 50 歳からの体の常識 大人のアレルギー①

福富 友馬

FUSOSHA MOOK, 82-85, 2022/11/15

9. 避けるべき食材^⑩

福富 友馬

週刊女性, 90-91, 2023/2/7

10. 花粉から食べ物まで 大人のアレルギーとどうつき合う？

福富 友馬

婦人公論, 101-105, 2023/2/15

11. 栄養指導

熊澤 勇介

国立病院機構相模原病院からの耳よりいいメール, 第88号6ページ,
2023/3/1

■その他

1. 食物アレルギー-新学期前に知っておきたい「わが子を守るため」に親ができること

佐藤 さくら

現代ビジネス講談社, 2022/4/1

2. シリーズ アレルギー疾患のファクトフルネスインタビュー 「食物アレルギー診療ガイドライン 2021 改定ポイント」食物以外で誘発される食物アレルギーとは？食物アレルギー診療ガイドライン 2021 作成委員長海老澤元宏氏に聞く

海老澤 元宏

日経メディカル, WEB, 2022/4/5

3. 食物アレルギーの新常識～その奇想天外な原因～

海老澤 元宏

週刊日経メディカル, 2022/4/22

4. 主治医が見つかる診療所

福富 友馬

テレ東 (TVer), 2022/4/25

5. クルミアレルギーが急増 原因食物「木の実類」が「小麦」超え3位に

海老澤 元宏

朝日新聞デジタル, 12:05 配信, 2022/5/1

6. 「食物アレルギー診療ガイドライン 2021」改訂のポイント

勝沼 俊雄, 海老澤 元宏

Salud, 2-5, 2022/7/1

7. 国立病院機構相模原病院 (相模原市)

大松 華子

神皮, 32-33, 2022/7/10

8. 木の実類のアレルギーが急増！1, 2才の食物アレルギー新規発症原因食物の第2位に。いつからどうやって食べさせる？【専門医】

佐藤 さくら

たまひよ ベネッセ育児サイト web コンテンツ, 2022/7/26

9. 15年ぶりに「くるみ」が特定原材料表記に追加される方針に。家族がくるみを食べていると子どもがアレルギーになりやすいの？【専門家に聞く】

佐藤 さくら

たまひよ ベネッセ育児サイト web コンテンツ, 2022/7/26

10. ふしぎなむしめがね 食物アレルギーがわかる絵本

海老澤 元宏

VIATARIS, 2022/8/1

11. 食物アレルギー今むかし① 日本の食物アレルギー診療の歴史とは
海老澤 元宏 独立行政法人環境再生保全機構, 2022/ 8/ 12
12. 食物アレルギー今むかし② 食物アレルギー管理の変遷：原因食物の「完全除去」から「必要最小限の除去」に！
海老澤 元宏 独立行政法人環境再生保全機構, 2022/ 8/ 19
13. 食物アレルギー今むかし③ 食物アレルギー予防の変遷：科学的な根拠がある食物アレルギー予防を！
海老澤 元宏 独立行政法人環境再生保全機構, 2022/ 8/ 26
14. 食物アレルギー今むかし④ 学校等での食物アレルギー対策も変わってきました！
海老澤 元宏 独立行政法人環境再生保全機構, 2022/ 9/ 2
15. アレルギー疾患治療の過去・現在・未来
海老澤 元宏, 加藤 則人, 後藤 嬢 Salud, 2-5, 2022/ 10/ 1
16. 第 29 回講習会 子ども達のための食物アレルギー教室
佐藤 さくら さくら, 2022/ 10/ 25
17. アナフィラキシーによる悲劇をなくそうーアナフィラキシーガイドライン改訂
海老澤 元宏 ケアネット, 2022/ 11/ 8
18. 死亡事故まねいたミス連鎖 給食アレルギーの対応, 個でなく組織で
海老澤 元宏 朝日新聞・貞国, 2022/ 12/ 24
19. アナフィラキシー GL の改訂ポイントを解説 8 年ぶり改訂
海老澤 元宏 Medical Tribune, 2023/ 1/ 11
20. 春における関節リウマチの疾患活動性上昇の可能性
松井 利浩(監修) パンフレット, 2023/ 2/ 1
21. 大人の食物アレルギー (1) 花粉症から発症することも
福富 友馬 山陰中央新報デジタル, 2023/ 2/ 20
22. 大人の食物アレルギー (2) 子どもと異なる原因, 症状
福富 友馬 山陰中央新報デジタル, 2023/ 2/ 27
23. 『アナフィラキシーガイドライン 2022』はどこがどのように変わったか
海老澤 元宏 infoAllergy, 2023/ 3/ 1

V . 【研究業績の分類と業績件数表】

2022 年度(令和 4 年度) 研究業績分類

| | 著述発表業績区分 | | | | 口演発表業績区分 | | | | | | | | 総数 |
|---------------|-----------|-----------|----|-----------|------------------|------------|----------------|------------------|------------|----------------|------|-----|----|
| | 英文 | | 和文 | | 国際発表 | | | 国内発表 | | | | | |
| | 原著・ 短報 | 総説・ 著書 | 原著 | 総説・ 著書 | 学会 シンポジ ウム | 学会 一般演題 | 学術 講演・ 他 | 学会 シンポジ ウム | 学会 一般演題 | 学術 講演・ 他 | メディア | | |
| 成人アレルギー分野 | 10 | 3 | 1 | 23 | 1 | 8 | 1 | 4 | 13 | 43 | 14 | 121 | |
| 小児アレルギー分野 | 28 | 10 | 1 | 27 | 20 | 20 | 2 | 20 | 17 | 35 | 37 | 217 | |
| 内科系リウマチ分野 | 13 | 0 | 1 | 7 | 0 | 3 | 2 | 10 | 37 | 37 | 1 | 111 | |
| 外科系リウマチ分野 | 5 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 10 | 0 | 26 | |
| 分子生物学研究分野 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 12 | |
| 臨床免疫学研究分野 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 外科・消化器外科・乳腺外科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 0 | 0 | 16 | |
| 呼吸器外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | |
| 脳神経外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 形成外科 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | |
| 消化器内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 循環器内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 6 | 0 | 11 | |
| 神経難病研究分野 | 4 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 10 | 22 | 0 | 41 | |
| 泌尿器科 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | |
| 産婦人科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 4 | |
| 腫瘍内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 救急科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 眼科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| 鼻アレルギー研究分野 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | |
| 皮膚アレルギー研究分野 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 9 | 1 | 18 | |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 5 | |
| 病理診断科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 5 | |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 6 | |
| 放射線科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 6 | |
| 臨床検査部門 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 10 | |
| 薬剤部門 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | |
| 栄養管理部門 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 4 | |
| 看護部門 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 6 | |
| 治験部門 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 診療部その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | |
| コメディカル | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 研究センターその他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | |
| 計 | 73 | 14 | 11 | 62 | 21 | 34 | 5 | 38 | 165 | 173 | 54 | 650 | |

国際発表計

60

国内発表計

376